

2013年度の総括

2013年12月20日

事務局長 平田藤義

昨年12月末に発足した第2次安倍内閣、そのアベノミックス効果が顕著に表れ、従前と比較にならない程、要人の来伯が最多を記録した年であった。

具体的には、茂木敏充経済産業大臣、岸田文雄外務大臣、新藤義孝総務大臣、鈴木英敬三重県知事他議員団、浜田恵造知事一行、三ツ矢憲生議員（自由民主党 政務調査会副会長、外務副大臣）、三原朝彦議員（日AU議連幹事長）、山際大志郎議員（内閣府大臣政務官）、若林外務大臣政務官、山形県議会議員一行等が挙げられる。

これは来年のサッカーワールドカップ開催にむけた日伯経済交流の強化や各県人会の周年行事の慶祝団の来訪もあるが何と云ってもアベノミックス効果の一つと言えるだろう。その要人たちとは単なるブラジルの政治・経済の意見交換だけに留まっていない。

具体的には将来、どの様に日伯の関係強化を図って行くかと言う点では5月1日、茂木経済産業大臣による海外で初めて行った「中小企業海外展開プラットフォーム事業」の立ち上げテープカットである。我々会議所も内外間閉塞感に陥っていた日本経済を元気にする特効薬は先ず中小企業の海外展開と思っている。官民連携で全面的に支援協力する所存である。

また三重県知事が全国知事会においてビザの免除化に向けたイニシアチブはワールドカップを機会に両国民がスポーツ、観光をはじめ芸術・文化交流を活性化しさらに理解を深め合う事以外に、将来の日伯EPA（人、物、金、サービス等の自由化）を見据え、特に中小企業の海外進出を促進させるための基本的な要素でもある。

今年は8月にドイツ会議所との交流会を行った。その詳細についてはサイトのURL（※）に譲るが、ただでさえも地政学的に最も遠い距離にある日本とブラジルを本当に遠い国にしているのは、政治家、官僚、我々経済人他、両国民にも責任がある。近づける努力をしてないからだ。ドイツは他のEU25カ国同様にシェンゲン協定でビザフリーである。（※）<http://jp.camaradojapao.org.br/news/atividades-da-camara/?materia=12131>

一方、同じアジアの国、韓国もビザフリーだ。ブラジル周辺国も日本との間でフリーである。日伯修好通商航海条約から118年、移民の歴史も105年、何故1世紀以上の友好国同士が未だにビザフリーでないのは不可思議で可笑しいとしか言いようが無い。EPAを云々する以前に先ず以って人の行ききを自由化する事が先決だ。

日本企業の会議所訪問客数はほぼ昨年と同じ数であった。しかし今年、日本からの新規進出企業の会員登録数は昨年の23社から25社（入会受付ベースでは28社）に増えた。世界の途上国に比べてビジネス環境は大変難しい国であるが巨大な市場が魅力的な為であるのは間違いない所だ。

我が会議所のHP累積アクセス数は11月時点で620万回をクリアしている。進出予備軍が虎視眈々とブラジル市場を狙っているのは想像に難くない。来年も新規会員は中小企業を含め増える予想を立てている。日本の中小企業127万社を傘下に置く日本商工会議所の支援下でブラジルでは前述したJETROの「中小企業海外展開プラットフォーム事業」、そしてJICAの中小企業支援事業と三位一体となって取り組む計画だ。

今年の会員企業数は日本からだけの進出企業219社でも、また地場の企業を合わせた合計360社でも史上最高を記録した。リオオリンピックの2016年には進出企業だけで350社、合計で500社を目標にしている。

会議所の存在感は会員数で決まり両国政府への提言能力が著しく高まるのは明白である。これからも会員企業と伴に活動基盤強化に努めて参りたいので引き続きご指導ご協力を賜りたい。

以下、今年1年間の総括を行い、以下の10項目をトピックスとして選びました。

1. **アベノミックス効果が顕著**
日本から大臣や県知事、国会議員など要人来伯が最多の年
2. **ビザフリー化に向け精力的に活動**
3. **官民一体で中小企業進出の支援策**
4. **日伯経済連携協定（EPA）の可能性**
5. **他国会議所、関連機関との連携強化、イベント多数開催**
6. **部会、委員会の活動がより活発に**
7. **日本企業の会議所訪問数が引き続き多数**
8. **日本進出企業会員数が219社と史上最多を記録**
9. **人材育成に注力**
10. **略語集の改訂版を発行**
(平田事務局長が在外公館長表彰を受賞)

1. **アベノミックス効果が顕著**

日本から大臣や県知事、国会議員など要人来伯が最多の年

岸田文雄外務大臣、新藤義孝総務大臣、茂木敏充経済産業大臣、鈴木英敬三重県知事、大村愛知県知事、山形県議会議員、若林外務大臣政務官など例年以上の各要人がブラジルを訪問した1年でした。会議所の役員と意見交換会を行い活発に意見・情報交換を行ってきました。

岸田外務大臣はルイス・アルベルト・フィゲイレド大臣と会談を行い両国間の査証協定の更なる緩和に向け合意しました。経済大臣としては5年ぶりに茂木大臣が来伯、主にインフラ、天然資源、造船分野などについての日伯間投資強化についてピメンテル大臣と活発な意見交換を行っています。

2. **ビザフリー化に向け精力的に活動**

日伯貿易投資促進合同委員会（新名称:日伯貿易投資促進産業協力合同委員会）や日本ブラジル経済合同委員会などでも改善を依頼してきました日伯間ビザ協定ですが、昨年1月1日から商用マルチビザが発効されたのに続きフリー化に向け着実に前進を続けております。

今年8月19日の会議所を訪問した鈴木英敬知事には、日本へ帰国後も積極的にビザフリー化に向け働きかけを頂いております。8月28日には来伯直前の岸田文雄外務大臣と面談、要望を伝えるとともに、全国知事会議の共同提案として取り纏め、22自治体の共同提言書として11月に古屋圭司国家公安委員会委員長、岸信夫外務副大臣、谷垣禎一法務大臣へ提言活動をされました。

3. **官民一体で中小企業進出の支援策**

経済大臣としては5年振りに5月に来伯した茂木敏充経済産業大臣が、海外進出に向け多様化する中小企業の個別相談への対応をより一層強化するための「中小企業海外展開ブラットホーム事業」を立ち上げ、海外第1号として華々しい盛大なテープカットがここサンパウロで執り行われました。

JICA主催による中小企業ミッション、磐田信用金庫ミッションの受け入れなど、会議所でも積極的に中小企業の支援に取り組んできました。

企業進出にあたっては今後より一層の連携が求められ、総領事館主導でJETRO、JICA、会議所間の連絡協議会が発足しました。

【はじめに】

◇本日はご多忙の折、日本の中小企業のブラジル進出を支援するための、JETROの新たなプラットフォームの立ち上げに御参集いただき、感謝します。

【日ブラジル関係】

◇ブラジルは、今やGDP世界第6位であり、2014年のワールドカップ、2016年のオリンピックを控え、新興国として確固たる地位を築いております。

◇巨大なマーケットに対し、各国からの投資も進んでおり、日本からの投資も2011年に、飲料分野での大型投資を背景に75億ドルを超えておりますが、ブラジル市場、日本企業の実力から言えばまだまだ余力があると考えています。

◇現在、自動車メーカーの新工場の建設など新規投資が進んでおりますが、今後は、大企業のみならず、製造業の裾野を支える中小企業や幅広い分野のサービスの進出が増加するものと考えます。

◇今回立ち上げるJETROの中小企業海外展開支援プラットフォームは、そうした中で取引先の開拓などに果敢に取り組む中小企業に対し、それぞれの中小企業に必要な現地情報を提供し、企業間のマッチングを行うなどの支援をワンストップで行うものです。

◇今回、ブラジルでのプラットフォームの立ち上げは、世界で第1号。これにより、日本の中小企業の進出が容易になること、ブラジル側にとっては、投資が増えることによってビジネス機会が拡大し、両国にとってWIN-WINの関係が構築できることになると考えます。

【事業の有効性の担保】

◇プラットフォームを絵に描いた餅に終わらずに有効に機能させるためには、当地で関係機関がしっかりと連携して、中小企業支援に取り組んで頂くことが重要。2人のコーディネーターとともに、本日ご出席の各機関が密接に連絡を取り合い、ネットワークの総合力を発揮していただけることを期待します。

【結び】

◇ご参集の皆さんとともに、日系中小企業のブラジルでの事業活動の拡大を後押しして参りたいと考えています。

2013年 5月 1日
経済産業大臣 茂木 敏充

4. 日伯経済連携協定（EPA）の可能性

各連携機関や要人との意見交換会でも重要課題のひとつとして協議されてきました。また平田事務局長は茂木大臣の来伯時に、去る4月15日に行われたサンパウロ工業連盟との日伯EPA協定に関する会合概要について説明を行いました。

5. 他国会議所、関連機関との連携強化、イベント多数開催

1月30日にFIESP（サンパウロ州工業連盟）と会議所会員企業意見交換会、8月29日ドイツ会議所との交流会を開催、12月9日には事務局長が韓国会議所の懇親夕食会へ招待を受け出席するなど、他商工会議所や関連機関との横連携を深めた一年でした。

6. 部会、委員会の活動がより活発に

昨年に引き続き、今年も部会及び委員会の活動が活発な一年でした。金融部会の年2回のセミナー、コンサルティング部会、初めての試みとして日伯法律委員会主催の日本語による税制変更セミナーは、出席希望者多数のため2回開催となりました。運輸サービス部会によるサントス港湾インフラの見学会、相互啓発委員会主催サンタ・カタリーナ視察見学会、環境委員会セミナー、また異業種交流委員会も活発な講演会開催で、会員企業の交流に大きく貢献しています。

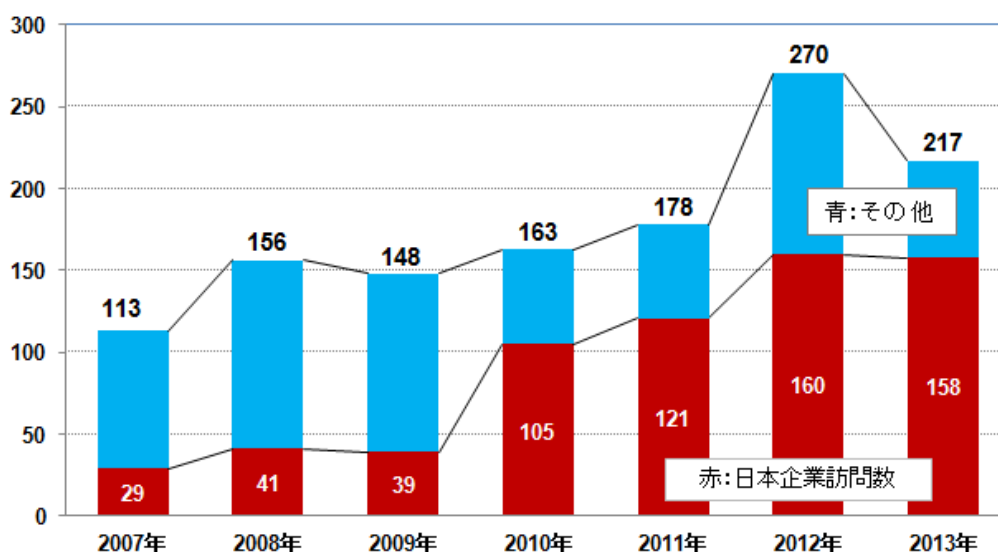
2012年の造船分科会（機械金属部会）に続き、今年メディカル分科会（貿易部会）も発足し、特にメディカル分科会は10月開催の日伯貿易投資促進産業協力合同委員会において懸念事項を発表するなど非常に積極的かつ意義のある活動を行いました。

7. 会議所訪問日本企業数が引き続き多数

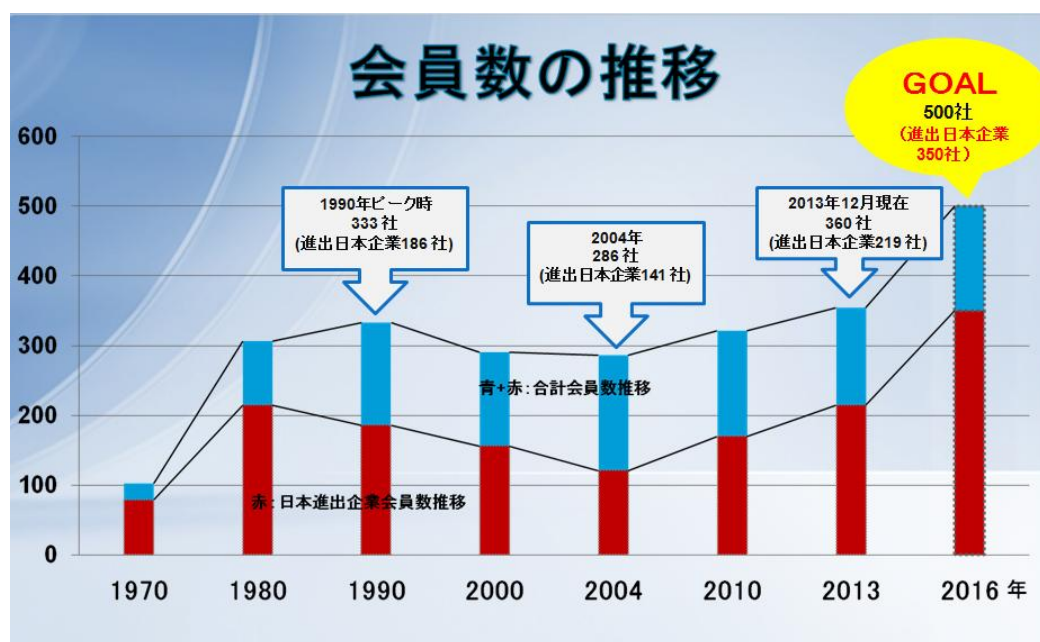
2007年～2012年までの日本企業の訪問数は29社、41社、39社、105社、121社、160社と特にリーマンショックの2年後の2010年から顕著に増加、2013年も日本企業訪問数158社（合計訪問

数 217 社) と多くの日本企業が会議所を訪問しました。

会議所訪問企業数(件数)



8. 日本進出企業会員数が 219 社と史上最多を記録



2013 年 12 月現在会員数 360 社、特に日本進出企業会員数は 219 社と会議所史上最多を記録しました。来年も引き続き増加の傾向を予想しており、オリンピックの 2016 年には 350 社を目標としています。

9. 人材育成に注力

2012 年に発足した「国境無き科学」プロジェクトに続き、本年も連携機関である会議所、JICA などが積極的に人材育成強化のための働き掛けを行っています。6 月 26 日は全国工業訓練サービス機関 (SENAI) Terra 理事 (2012 年 8 月定例昼食会に特別講師として招待) 及び愛知県名古屋市に所在する日伯学園の篠田カルロス校長らと会合を行い、今後の人材育成政策について活発な意見交換を行いました。12 月には SENAI と JICA が造船技術者養成に関する協定を結んだばかりです。

また会議所では、ブラジル FAAP 大学、中央大学、明治大学、メキシコモンテレイ工科大学など数多くの学生ミッションを受け入れ人材交流とその育成のために取り組んできました。日本の技術の普及と人材交流を目的とした東大フォーラムの実施にもその協力を惜しみませんでした。

10. 略語集の改訂版を発行

2012年よりスポンサー企業募集と編纂を行ってきたブラジル略語集改訂版を3月定例昼食会にて渉外広報委員会委員長である中西副会頭が発表、改訂版として最新の2000語が収録されており、2014年のワールドカップ、2016年のオリンピック開催とこれからますます情報の需要が高まるであろう年に満を持して出版されました。巻末付録として日ポル語の会計用語集が収録されており、PwCにも多大なるご協力を頂きました。

(平田事務局長が在外公館長表彰を受賞)

日伯間の相互理解及び友好親善に寄与し、その功績が顕著であることが認められ在サンパウロ総領事館管内の平成25年度表彰対象者として、平田藤義事務局長が受賞した。11月7日、在サンパウロ総領事公邸で行われた伝達式で、日伯経済関係強化により一層貢献する旨を誓いました。

2013 年 1 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	お正月 日系 5 団体とサンパウロ総領事館が新年祝賀会を共催関係諸団体や一般人など約 400 人が参加し新年を祝った。木多喜八郎文協会長と、続いて福嶋教輝総領事が挨拶	近藤会頭/平田事務局長			文協大講堂
02	振替休日				
03	振替休日				
04	振替休日				
05	土曜日、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の田中理事長が日系諸団体と懇談/技術協力案件の一つであるサンパウロ州軍警察の交番制度や文協ビル内にあるブラジル日本移民史料館を視察の後、会議所役員と懇談会/日伯プロサバンナ・プロジェクト（日伯連携によるモザンビーク熱帯サバンナ農業開発事業）、治安向上の為に地域警察制度の拡充プロジェクト、日伯方式の地デジ導入にあたって専門家派遣や研修およびセミナー開催、その他環境対策プロジェクト等々。参加者：JICA 田中明彦理事長、高野 剛中南米部長、畝 伊智朗理事室長、室澤智史ブラジル事務所長、在サンパウロ総領事館の福嶋教輝総領事、同館の坪 井俊宣経済担当領事、会議所から近藤正樹会頭（伯国三菱商事社長：商社全般）、伊吹洋二専任理事 特命担当委員長（丸紅ブラジル会社社長：インフラ関連）、村上廣高専任理事 日伯法律委員長（ブラジルパナソニック社長：電機関連）、西岡信之専任理事 企業経営委員長/機械金属部会長（ブラジル三菱重工 社長：造船/人材育成）、平田藤義事務局長。	近藤会頭/平田事務局長			
06	日曜日				
07					
08	相互啓発委員会活動について意見交換/遠藤秀憲委員長、桑原泰治副委員長、平田藤義事務局長、日下野成次総務担当	4 人			
09	会頭主催の会議所事務局新年会に職員が出席/平田藤義事務局長以下、事務局職員が出席した、昨年 12 月 21 日に行った会議所事務局の忘年会に欠席した会頭の主催で今回新年会が企画された。	近藤正樹会頭、事務局職員			
10	異業種交流委員会活動について意見交換/異業種交流委員会の江上知剛委員長、板垣勝秀氏（パナメジカル）、櫻井淳氏（伯国三菱商事会社）、平田藤義事務局長、日下野成次総務担当	5 人			
11					
12	土曜日				

13	日曜日 茶道裏千家初釜新年会/初釜の後、会場を移し新年祝賀会が行われた同イベントには福 寫教輝サンパウロ総領事をはじめ、各日系団体 代表者らが集い約 330 名が出席	近藤会頭/平田事 務局長			
14	パイロットペン新工場竣工式/にエドゥアルド・ ヨシダ ディレクター（パイロットペブラジ ル）が同社の沿革について説明、続いて早乙女 辰男社長が挨拶/日本本社よりお祝いに駆け付け た渡辺広基代表取締役社長も続けて挨拶を行 い、ブラジル工場の重要性について触れてい る。その後福寫教輝サンパウロ総領事とペド ロ・ピガルジ市長（ジュンジアイー市）が祝辞 を述べ、盛大に竣工式が執り行われた。	近藤会頭/平田事 務局長			サンパウロ州ジュン ジアイー市
15	松尾治 元百周年記念協会実行委員長が移民百年 史を手渡し/ブラジル日本移民百年史 第一巻 農 業編出版の報告を行い、同書 3 冊を応じた平 田藤義事務局長へ手渡した。また後日の 17 日 は、生活と文化編もあわせて贈呈/ブラジル日本 移民百周年記念事業の一環である同百年史の編 纂・出版プロジェクトは会議所が管理していた 日伯修好百周年記念基金より 2009 年に 17 万 5 千レアイスの助成を受けている。	平田事務局長			
16	2013 年新年会に 160 人が参加して盛大に開催/ 会頭挨拶で近藤正樹会頭は日伯国会議員連盟会 長のブラキチの麻生太郎氏元総理が安倍内閣で ナンバー 2 の副総理兼財務相を担当、また 2008 年の当時の甘利明経済産業大臣の来伯をきっか けに、日伯貿易投資促進合同委員会が始まり、 その甘利大臣が経済再生担当相を担当してお り、日伯関係に追い風が吹いていると説明、三 輪昭大使はブラキチの麻生太郎元総理が安倍内 閣で副総理兼財務相に就任したのは非常に心強 いと述べた。/平田藤義事務局長が務め、新年会 開催挨拶として蛇年に相応しいキーワードを敢 えて、あてはめると『脱皮の年、生まれ変わり の年』あるいは『復活・再生の年』である」と 説明。	160 人			ブルーツリーホテル
17					
18	日系主要 5 団体により打ち合わせ会議に日系社 会委員会が出席 業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で金 融部会開催/部会組織変更では山崎部会長（ブラ デスコ銀行）、原島副部会長（東京海上）、高 橋副部会長（ブラデスコ銀行）を選出、今年の 部会活動として 3 回のセミナー並びに内容につ いて意見交換	天野委員長、小 金沢副委員長、 石嶋副委員長 10 人			文協
19	土曜日				
20	日曜日				

21					
22					
23	今年初めての日伯法律委員会に 65 人が参加して開催/ Deloitte Touche Tohmatsu のデシオ・レコンペーリ・ジュニオール税制コンサルタント部門責任者が「移転価格税制－細則第 1312 号による変更点」について/ KPMG のルーシオ・バストス税制部門共営者が「港湾戦争の終焉－州間取引 ICMS(商品流通サービス税) 税率一律 4%へ変更」について/ Gaia, Silva, Gaede & Associados - Advocacia e Consultoria Jurídica のジョルジ・ルイス・デ・ブリット・ジュニオール・シニア弁護士が「サンパウロ州における ICMS 負債の特赦と分割納入について/ Pinheiro Neto Advogados のジェゴ・フィリッペ・カセビ弁護士が「連邦税の相殺－判例に照らした注意点」について/ Trench, Rossi e Watanabe Advogados のブルノ・マエダ・コンプライアンスグループ共営者が「法案 6.826/2010 号による反汚職法案の主な点」についてそれぞれ講演した。	65 人			
24	コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）主催の移転価格税制適用免除規定の変更に係るセミナーに 55 人が参加して開催/デロイトトーマツの都築慎一ダイレクターが講演、澤田吉啓部会長は開催挨拶でこの講演会には、二桁以上の会員がウェイトリングリストに登録されていると説明/2012 年 12 月 28 日に公布された改正移転価格税制施行規則（IN1312）の主要留意点を説明	55 人			
25	サンパウロ市設立記念日				
26	土曜日				
27	日曜日				
28	繊維部会に 10 人が参加して業種別部会長シンポの発表資料作成/ コンサルタント部会は部会長シンポの発表テーマで意見交換/発表テーマとして、ダボス会議で話題になった世界の企業経営者アンケートによる注目度が高いブラジルについて、また法律改正中の法案並びに今後の影響、港湾戦争を解決する一律 4.0%の ICMS 税の影響、税制改革などについて意見交換	10 人 11 人			
29					
30	サンパウロ州工業連盟と会議所会員企業の意見交換会/FIESP 連盟のパウロ・スカフェ会長は開会の挨拶で、商工会議所の名誉顧問のサンパウロ総領事館の福嶋教輝総領事が当会議所と F I E S P 間の更なる重層的な関係強化を図る目的から FIESP 連盟を訪問して、スカフェ会長に日伯の関係強化 を要請、スカフェ会長から快諾を受けて、今回の意見交換会並びに懇親昼食会が実現した経緯を説明/近藤会頭は、今回の商工会議所と FIESP 連盟のビジネス環境改善のための意見交換会 は、日伯関係の更なる緊密化につながり、40 年に及ぶ経団連と CNI(全国工業連盟)の日本ブラジル合同経済委員会、 ブラジル開	85 人			

	発商工省（MDIC）と 日本経済産業省（METI）共催の日伯貿易投資促進合同委員会（日伯貿投委）が活発化してきており、日伯社会保障協定の締結、3年間のマルチヴィザ発給などに結びついたと説明。/福寫教輝総領事はスカフェ会長が意見交換会並びに懇親昼食会の開催を快く承諾していただいたことにお礼を述べた。				
31	サンパウロ総領事館主催による「海外邦人安全対策連絡協議会」/意見交換会では総領事館並びに JICA、商工会議所との連携の強化、総領事館のメール サービスの活用、在留届の促進の必要性、サンパウロの安全対策情報の共有、安全対策セミナーの開催、サンパウロ総領事館の管轄である南マット・グロッソ州 並びにマット・グロッソ州への進出企業の被害届の促進、駐在員並びに日本人学校の生徒の増加に伴う安全強化など非常に活発な意見交換が行われた。 企業経営委員会（西岡 信之委員長）の労働問題研究会/Lautenschlager, Romeiro e Iwamizu Advogados 弁護士事務所のファブリシオ・パラシオス・トガシ弁護士が「超過勤務（就業時間）の相殺」について/Felsberg, Pedretti e Mannrich Advogados e Consultores Legais のマウリシオ・ペペ・レオン・アソシエート弁護士並びにロベルト・ロセッティ・アソシエート弁護士が「労働裁判における鑑定書—その注意点と ベストプラクティス」についてそれぞれ講演	13 人 45 人			総領事館多目的ホール

2013 年 2 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	運輸サービス部会（森田透部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換 南米研究会	14 人 平田事務局長			シントリ・レストラン
02	土曜日				
03	日曜日				
04	食品部会（天野一郎部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換	13 人			
05	2012 年第 4 四半期の業務・会計監査/監事会から中村敏幸監事会議長、藤井敏晴監事、原敬一監事（ブラジル三井住友保険）、堀内勝前監事（みずほコーポレート銀行）、財務委員会からは村田俊典財務委員長が参加 建設不動産部会（三上悟部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換 WORLD BASEBALL CLASSIC 2013 ブラジル代表チームの壮行会	8 人 10 人 近藤会頭			総領事公邸
06	平田藤義事務局長がサンパウロ州工業・石油化学用化学品工業組合（Sinproquim）主催の「港湾戦争：輸入品に対する州間取引 ICMS（商品流通サービス税）一律 4%」についてのセミナーに参加/オズヴァルド・キタハラ サンパウロ州財務局税務行政執行部（DEAT）貿易課代表と同州財務局税務行政コーディネート課代表のレオナルド・グレゴリオ氏及びロベルト・ピアヴァ氏が講師を務めた。講演後、平田事務局長はキタハラ代表へ会議所での同様なセミナーの開催をお願いした。	平田事務局長			
07	電気電子部会（篠原一字部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換	12 人			
08	外務省南米課・清水南米課長との昼食会 官側：清水南米課長 服部事務官 澤田 JETRO 所長 佐野首席 坪井/ 民側：三菱商事 三井物産 双日 丸紅 伊藤忠 平田事務局長	11 人			Templo de carne Marcos Bassi

09	土曜日				
10	日曜日				
11					
12					
13					
14	貿易部会（伊吹洋二部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換 機械金属部会（西岡信之部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換 化学品部会（藤下 温雄部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換	15 人 22 人 18 人			
15	2月の懇親昼食会/レイミギ SUAPE GLOBAL ディレクターは、「スアペ港のプロジェクト並びに投資機会」と題して講演	130 人			マクソウドホテル
16	土曜日				
17	日曜日 第27回カマラゴルフ大会/優勝は八代さん（MITSUBISHI CORPORATION）、2位には花井さん（SUMITOMO CORPORATION）、3位には大滝さん（CONSTRUTORA HOSS）	45 人			PL ゴルフクラブ
18	2013年上期の業種別部会長シンポジウムの案内で邦字新聞社のニッケイ新聞社並びにサンパウロ新聞社を訪問 自動車部会（武田川雅博部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料の作成や今年の部会活動などで意見交換 天野日系社会委員長が上田雅三司連邦高等裁判所判事の顕彰式典に出席	上野秀雄総務委員長/平田藤義事務局長 17 人			文協ビル 2 階貴賓室
19	JCI(ブラジル青年会議所) 新会頭の就任式/2012年のダニエル・カワチ氏に代わり、2013年はラファエル・ジュン・マベ氏が新会頭へ就任、式典の中で平田事務局長は近藤正樹ブラジル日本商工会議所会頭からの祝辞を代読し、新会頭の就任を祝った。	平田事務局長			
20	環境員会（廣瀬 孝委員長）開催/今年の委員会活動などについて意見交換/廣瀬委員長、金丸副				

	委員長、飯田副委員長、座間副委員長、平沼副委員長、平田事務局長、日下野総務担当				
21	日伯法律委員会（村上 廣高委員長）/ Abe, Costa, Guimarães e Rocha Neto Advogados コーポレート部門のフェルナンド・ザノティリーダーが「企業合併プランとそれに伴うリスク」について/ TozziniFreire Advogados のラファエル・ベラニンシニア弁護士が「法令 12.767 号 - 対連邦政府 債権申し立ての承認」について/ PwC Brasil 間接税部門のエジソン・アポリナリオ弁護士が連邦決議 13 号「港湾戦争」 - 規定と 2013 年の展望について/ Ernst & Young Terco 税制政策部門のフラヴィオ・デ・サ・ムニョス共営者が ICMS(商品流通サービス)に関する税制改革についてそれぞれ講演 異業種交流会（江上知剛委員長）第一回会合開催/ 2013 年活動にあたっての方針確認及び今後の進め方について意見交換/江上委員長、山下副委員長、板垣副委員長、秋吉副委員長、平田事務局長、日下野総務担当	56 人 5 人			
22	司会を務めた総務委員会（上野秀雄委員長）並びに企画戦略委員会（林 正樹委員長）共催による 2013 年上期の業種別部会長シンポジウム開催/発表者は金融部会の山崎展生部会長/コンサルタント部会の田島パウラ部会長代理/自動車部会の岡本紀子部会長代理/機械金属部会の西岡信之部会長/電気電子部会の篠原一字部会長/貿易部会の伊吹洋二部会長/化学品部会は藤下温雄部会長/運輸サービス部会は森田透部会長/繊維部会は金屋悦二部会長/建設不動産部会は三上悟部会長/食品部会は天野一郎部会長/講評は在サンパウロ総領事館の福嶋教輝総領事/上野秀雄総務委員長は閉会の辞	150 人			インターコンチネンタルホテル
23	土曜日				
24	日曜日				
25	平成 24 年度官民合同会議/三輪 昭在ブラジル日本国特命全権大使 / ブラジル日本商工会議所名誉会頭、中南米局南米課の今田克彦首席参事官、片平 聡公使参事官、福嶋教輝在サンパウロ日本国総領事 / ブラジル日本商工会議所名誉顧問、商工会議所からは近藤正樹会頭はじめ 32 人が参加 日系主要 5 団体を初め 28 団体による共催で、サンパウロ日系市会議員の当選祝賀会	天野日系社会委員長、平田事務局長			松原ホテル ブラジル日本文化協会 2 階の貴賓室
26					

27					
28	企業経営委員会（西岡 信之委員長）の労働問題研究会/DeloitteToucheTohmatsu 労働問題・社会保障コンサルタント部門のフェルナンド・アザール共営者並びにペドロ・ルアルテ責任者が「派遣社員雇用のリスク」について、Pinheiro Neto Advogados 社会保障部門のスリスティアネ・マツモトシニアアソシエート弁護士並びにウイリアム・クリスタニ社会保障及び税制部門アソシエート弁護士が「総売上に対する社会負担金課税について ― その現状」についてそれぞれ講演	62 人			

2013 年 3 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	JICA 主催の第 1 回中南米民間連携調査団との意見交換会/中南米民間連携調査団 17 人、双日ブラジルの江上知剛顧問（専任理事、異業種交流委員長）並びにブラジル日本通運の細谷浩司社長、平田事務局長が参加/平田事務局長は、パワーポイントでブラジル日本商工会議所の沿革、会議所のスローガン、会員数の推移などを説明	20 人			
02	土曜日				
03	日曜日				
04					
05	サンパウロ州工業・石油化学用化学品工業組合（Sinproquim）主催で行われたケンブリッジ大学経済学部のエドアルド・ジアネッテ・ダ・フォンセカ教授によるテーマ「ブラジル政治経済の現状」の講演会に平田藤義事務局長、異業種交流委員長の江上知剛専任理事が参加、				
06	金融部会の山崎 展生部会長が今年の部会活動で意見交換/平田事務局長				
07	総領事公邸で開催された近藤正樹会頭の送別会に、会頭をはじめ常任理事と平田藤義事務局長が出席。	9 名			
08					
09	土曜日 天野一郎日系社会委員長が東日本大震災犠牲者三回忌追悼法要に参加 /追悼法要は 2 部構成で行われ、第 1 部の追悼法要開始までの 30 分間は震災に関するビデオを放映、園田昭憲県連会長が追悼の辞を述べた後に一般焼香が行われ、第 2 部の追悼式典までの間には、NHK の復興支援ソング「花は咲く」のビデオが上映、追 悼式典では、福島教輝在サンパウロ総領事、被災県人会代表のあいさつに続いて、福島県立小高工業高 3 年の高野桜さん（18）と岩手県立高田高 3 年の佐々 木沙耶さん（18）の 2 人が被災地からのメッセージを届けた。				
10	日曜日				
11	運輸サービス部会（森田透部会長）は、2 月 22 日に開催された業種別部会長シンポジウムの反省会並びに今年の部会活動について意見交換 日伯経済交流促進委員会（藤井 晋介委員長）開催/近藤 正樹会頭、藤井 晋介委員長、矢部 健太郎副委員長、平田 藤義事務局長が参加して、今後の更なる両国の経済交流の促進な	8 人			

	どについて意見交換				
12	ジェトロ・サンパウロ事務所（澤田吉啓所長）とコンサルタント部会（澤田吉啓部会長）共催の中南米市場セミナー（チリ・ベネズエラ）開催 サンパウロ総領事公邸で開催され日系諸団体代表者との懇談会に会議所から近藤正樹会頭と天野一郎日系社会委員会長が出席	55 人			サンパウロ総領事公邸
13					
14					
15	3 月の懇親昼食会（第 63 回定期総会及び定例理事会）に 140 人が参加して開催／、長崎大学の藤野哲也 名誉教授、リカルド・テーハ（Ricardo Terra） SENAI（工業実習サービス機関）サンパウロ支部技術部長がそれぞれ講演／中西俊一 渉外広報委員長がブラジル略語集の出版発表について説明 会頭交代にあたって新旧会頭による記者会見を実施	140 人 近藤正樹会頭、藤井晋介新会頭、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞			インターコンチネンタルホテル インターコンチネンタルホテル
16	土曜日				
17	日曜日				
18					
19					
20					
21	平田藤義事務局長がアメリカ商工会議所で行われた税制委員会並びに貿易委員会の合同会議に参加 /テーマ「ICMS 税の変更並びに民間企業セクターに与えるインパクト」と題する合同会議／、AMCHAM によるブラジルの競争力プログラムの一環として、4 月 25 日に ICMS 税セミナーが開催予定 3 月の日伯法律委員会に 42 人が参加して開催 /Abe, Costa, Guimarães e Rocha Neto Advogados 弁護士事務所のアドリアノ・ベレーラ弁護士が民事再生－債権者の視点からについて/Ferraz de Camargo Azevedo e Matsunaga Advogados 税部門のアントニオ・アゼヴェード共営者は、 INSS /社会保障院 - 解雇補償金への課税について/Trench, Rossi e Watanabe Advogados のアナ・カロリーナ・ウチマチ・シニアアソシエート弁護士 は、ICMS 商品流通サービス税の分割支払システム PEP（ Programa Especial de Parcelamento） - サンパウロ州に				

	おける新たな減税制度について/Gaia, Silva, Gaede & Associados のマウリシオ・パーロス弁護・司法コンサルタント担当マネージャーは、サンパウロ州法令 58.918/2013 号 - ICMS をめぐる税制戦争の新たな局面について、それぞれ講演				
22					
23	土曜日				
24	日曜日				
25	相互啓発委員会の遠藤秀憲委員長、桑原泰治副委員長が訪問 /平田藤義事務局長と今年の委員会活動や見学会などについて意見交換				
26	常任理事主催による近藤正樹会頭及び澤田吉啓元専任理事の送別会が開催/出席者は、近藤正樹会頭、藤井晋介副会頭、中西俊一副会頭、村田俊典副会頭、天野一郎副会頭、上野秀雄専任理事、江上知剛専任理事、村上廣高専任理事、林正樹専任理事、遠藤秀憲専任理事、澤田吉啓元専任理事、堀内勝元監事会メンバー、佐野浩明サンパウロ総領事館首席領事、遠藤諭副領事、平田藤義事務局長。				
27					
28	平田藤義事務局長が JET プログラム国際交流員壮行会に参加 /佐野浩明在サンパウロ総領事館首席領事が壮行会の開催挨拶を行い、日本の地方公共団体に配属されるナリタ・カレン・マヤさん（配属先 北海道帯広市 市民活動部 親善交流課）、キクチ・ダニエラ・ミワさん（山梨県 国際交流協会）、ウチダ・アラン・ヒデキさん（静岡県 企画広報部 地域外交局 多文化共生課）がそれぞれ自己紹介を行った。 企業経営委員会（西岡 信之委員長）の労働問題研究会/NK Assessoria Contábil e Fiscal Ltda のヴァンデル・ミズシマ弁護士が「従業員が死亡した際の契約解消手続き」について/Ferreira Rodrigues Sociedade de Advogados のヴォルネイ・フェレイラ共営ディレクターは「時間外・社外労働 - 低リスクで行うには、その法規制」についてそれぞれ講演	33人			総領事館多目的ホール
29	イースター				
30	土曜日				
31	日曜日				

2013年4月 活動報告書

[illegible]

	れ、現在 MITSUI SUMITOMO SEGURO S/A (原敬一社長) にて業務研修&語学研修中				
12	懇親昼食会/特別参加者として講演者の Magazine Luiza 社のルイザ・エレナ・トラジャーノ社長、ブルーツリーホテルの青木 智栄子社長、国際協力銀行 (JBIC) リオ事務所の安井 豊首席駐在員、 JICA ブラジリア事務所の遠藤 浩昭次長、福嶋教輝 在サンパウロ日本国総領事代理の坪井 俊宣領事、文協 (日伯文化福祉協会) の木多 喜八郎会長、県連の園田 昭憲会長、ブラジル日本商工会議所第 13 代会 頭の貞方 賢彦氏、日本商工会議所第 15 代会頭の田中 信氏、ブラジル青年会議所のラファエル・ジュン・マベ会頭、 新日鐵住友金属の橋本 英二 常務	120 人			ブルーツリー・ファ リアリマ・ホテル
13	土曜日				
14	日曜日				
15	FIESP のジアネッチ国際担当理事と会合/ 会合では日伯経済関係強化をテーマに (特に日伯 E P A 協定の可能性について) 意 見交換が行われ有意義な内容となった。出席者は F I E S P より、ロベルト・ジアネッチ国際担当理事、ジョゼ・アウグスト副理事、トーマス・ザノット副理事、フレデリッコ・アラナ・メイラ同マネージャー、ジョゼ・ルイス・ピメンタ同国際交渉コーディネーター、輸出振興庁/CNI/FIESP のビジネス支援窓口のサミール・ハムラ、在サンパウロ日本国総領事館総領事館から福嶋教輝総領事 (会議所名誉顧問)、坪井俊宣領事、山口晃義専門調査員、ジェットロより紀井 寿雄調査担当ディレクター、会議所から藤井晋介会頭 (2013 年 4 月 1 日付けで会頭に就任/日伯経済交流促進委員長)、矢部健太郎 同委員会副委員長、平 田藤義事務局長、日下野成次総務補佐。				F I E S P (サンパ ウロ州工業連盟)
16	松尾治 元百周年記念協会実行委員長が移民百年史第四巻・五巻を持参/ブラジル日本移民百年史第四巻 (生活と文化編 2) ・五巻 (総論・社会史編) の編集版の報告を行い、また平田藤義事務局長に 3 冊を贈呈	平田事務局長			
17	日伯法律委員会 (村上廣高委員長) 並びにコンサルタント部会 (都築慎一会长代理) 主催の 2013 年上期税制変更に関するセミナー/PWC BRASIL 税制部門担当のエジニルソン・アポリナリオ取締役は、「サービス税とその論争点 - 2012/2013 年の主な法決議」について/GAIA, SILVA, GAEDE & ASSOCIADOS - ADVOCACIA E CONSULTORIA JURÍDICA 税制部門担当のジェオルジョス・アナスタシアジスは、「社会保障負担金の売上高ベース納付の問題点 (給与ベースからの代替)」について、社会保障院 (INSS) への売り上げベースの支払いの計算方法の実例、分割支払い方法、累積審査規則、暫定令 612 号などについて/TOZZINIFREIRE ADVOGADOS のジェリー・レヴェルス・デ・アブレウ共営者は、「連邦決議 13 号の適用における問題点」につい	120 人			マクソウドホテル

	て/ERNST & YOUNG TERCO のデメトリオ・ゴメス・バルボーザ取締役は、「移転価格税制の変更点」について/TRENCH, ROSSI E WATANABE ADVOGADOS のルシアナ・シモエス・デ・ソウザ弁護士は「高等裁判所における社会保障に関する議論―判例の経緯」について/PINHEIRO NETO ADVOGADOS のジアンカルロ・シャマ・マタラーゾ共営者が「国内及び国外オペレーションにおけるロイヤリティの関税」について/KPMG 税制部門担当のエリオ・ハナダ取締役は、「Siscoserv – サービス・無形資産ならびに財産に相違を生じさせるその他のオペレーションにまつわる貿易統合処理システム。経常収支の中のサービス収支、所得収支、経 常移転収支にあたる取引に関する情報を統合的に処理するシステム」についてそれぞれ講演した 第 11 回サンパウロ国際自動車部品見本市 (AUTOMEC) に、アイシン・ド・ブラジルブースへの招待を受け、平田藤義事務局長が参加/アイシン・グループのブースではアイシン・ド・ブラジルの川村秀樹社長およびアイシン・オートモティブの長田 健社長に加え、同社の日比野桂一副社長や アイシン・エーアイ (株) グローバル事業推進部の田中裕亮氏やアイシン精機の方々から展示品の中でも最も注意を引くトランスミッションやエンジンについて 丁寧な説明を受け、また川村社長とは諸地域との EPA 協定に関しても意見交換を行った。	平田事務局長			
18					
19					
20	土曜日				
21	日曜日				
22	2013 年～2016 年度の全国自動車工業会 (Anfavea) 並びに全国自動車・トラック・トラクター工業組合 (Sinfavea) の執行部就任式 /Anfavea 及び Sinfavea の新会長は GM 取締役のルイス・モアン・ヤビク・ジュニア氏。	平田事務局長			モンテ・リバノ・クラブ
23					
24	環境委員会 (廣瀬 孝委員長) が開催/会員企業でもある PwC 社を招き同委員会が企画中のセミナー内容について、固形廃棄物処理や再生可能エネルギーなど会員企業にとって有意義なテーマ選定を目指して意見交換/参加者は廣瀬孝委員長、飯田将基副委員長、座間創副委員長、平沼州副委員長、平田藤義 事務局長、日下野成次総務担当、PwC 社からはカルロス・エンリケ・ロッシン (アドバイザー)、片岡万枝 (アドバイザー)、フラヴィア・タケウチ (サステイ	平田事務局長			

	ナブル・ビジネス・ソリューションズ)				
25	天野日系社会委員会が日系主要 5 団体会議に出席/主に今年行われるブラジル日本移民 105 周年記念行事について協議 第 17 回エキスポヴィニスにて相互啓発委員会 SANJO ワイン工場視察見学会の打合せ/遠藤秀憲 相互啓発委員長と平田藤義事務局長が第 17 回エキスポヴィニス内の SANJO 展示ブースを訪問/今年 7 月下旬に企画中の相互啓発委員会によるサンタカタリーナのサンジョアキン農業協同組合 (SANJO) ワイン工場視察見学会を前にして、同組合サンパウロ支部の平延渉氏と視察会についての打ち合わせを行った。 企業経営委員会主催の労働問題研究会/Emdoc Serviços Especializados Ltda の RENÊ RAMOS 弁護士及び共営者が「国家移民審議会決議 99 号について ― 変更点と従来どおりの点」について/Kanamaru Advogados の CARLOS ALEXANDRO SCHWINZEKEL 弁護士及び労働部門コーディネーターが、「労災休業補償 - 医師による完治証明書」についてそれぞれ講演	38 人			文協会議室
26					
27	土曜日				
28	日曜日				
29					
30	平田事務局長はペトロブラスのサントス海盆原油生産ゼネラル・マネージャーのオズワルド川上氏を訪問、同氏に 6 月 14 日会議所定例昼食会の講演を依頼/オズワルド・川上氏は日本のペトロプラス支社、南西石油の CEO 兼社長、BJE (Brazil Japan Ethanol Corporation) の代表者、在日本ブラジル商業所会頭を歴任後、12 年振りに帰国したばかり。 天野日系社会委員長が日系関係団体の日本移民 100 周年記念協会の総会と日伯文化社会統合協会の総会総に出席	平田事務局長			

2013 年 5 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	メーデー 茂木敏充経済産業大臣が来伯、経済ミッションも随行/茂木敏充大臣が挨拶、世界第6位の GDP を誇り、2011年には日本からの直接投資が75億ドルの規模になったブラジルに対し、最も遠い地理的な要因を克服、特に日本からの中小企業海外展開支援を促進したいと決意を表明。/平田事務局長は同大臣に事前周知頂くために去る4月15日に行われたサンパウロ工業連盟との日伯 EPA 協定に関する会合概要について説明/懇談会の終了直後に中小企業海外展開プラットフォーム事業の立ち上げ式があり、茂木大臣の挨拶とともに海外第1号の華々しい盛大なテープカットが執り行われた。/会議所から藤井会頭他、中西副会頭（渉外広報委員長）、村田副会頭（財務委員長）、江上専任理事（異業種交流委員長）、伊吹専任理事（特命担当委員長兼貿易部会長）、廣瀬専任理事（環境委員長）、村上専任理事（日伯法律委員長）、林専任理事（企画戦略委員長）、遠藤専任理事（相互啓発委員長）、黒子企業経営委員長の執行役員10名に加え平田事務局長が参加	60 人			市内ホテル
02	日本とブラジルが相互の投資促進で合意/ブラジルで、相互の投資促進と両国間の産業分野の協力を目的とした、2通の覚書に署名した。最初の合意は、茂木敏充産業経済大臣とフェルナンド・ピメンテル開発商工大臣が署名したもので、日本ブラジル投資・産業協力合同委員会の設立に向けたもの。 茂木経産大臣がピメンテル開発商工省大臣を訪問/日本の茂木敏充経済産業大臣と、日本の14団体と実業家68人からなる随員と会見/				ブラジル
03					
04	土曜日				
05	日曜日				
06					
07	監事会は2013年第1四半期の業務・会計監査を実施 /、監事会は「2013年の第1四半期の会議所の業務の遂行と会計処理は適正であったこと」を承認。/で監事会から中村敏幸監事会議長（デロイト）、藤井敏晴監事（KPMG）、原敬一監事（ブラジル三井住友保険）、財務委員会からは村田俊典財務委員長（ブラジル三菱東京UFJ銀行）/、事務局からは平田藤義事務局長、エレナ・ウエダ会計担当、日下野成次総務担当が参加				

08	運輸サービス部会/9月に予定されているサントス港湾見学会の視察、日程、バスや食事の手配などについて意見交換/参加者は森田透部会長(山九)/川手純一副部会長(NYL Line)/細谷浩司副部会長(日通)/平田藤義事務局長/日下野成次総務担当	5人			
09	異業種交流委員会/日下野良武氏(ジャーナリスト)を講師に迎えて、サンパウロ新聞をはじめとして42年のジャーナリスト歴の経験を元に日本人の日系社会との関わり等多岐に亘る講演をした。				日本語センター
10	懇親昼食会/独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)の北里 洋 海洋・極限環境生物圏領域長、同機構の磯崎 芳男 海洋工学センター長が講演/前在ブラジル日本国特命全権大使/元 ブラジル日本商工会議所名誉会頭の島内 憲氏が挨拶。	150人			インターコンチネンタルホテル
11	土曜日				
12	日曜日 第28回カマラゴルフ会 開催/岡さん(SUMITOMO CORPORATION)がLILY38、PANSY41、グロス79、HC15、ネット64と圧倒的スコアで優勝 第31回独伯合同会議がサンパウロで開催(2013年5月12日～14日)/12日の懇親会には今回もドイツ会議所の会員同等扱いで平田事務局長がパーソナリティー表彰式に参加、旧知の同所役員や顧問等と独伯関係の現状や将来動向について意見交換/13日の開会式にはブラジル側からジウマ大統領以外にパトリオッタ外務大臣、ピメンテル開発商工大臣、メルカダント教育大臣等に加え、去る9日に発足したばかりのアフィッフィ・ギレルミ中小零細企業大臣(S P州副知事)の他、アルキミン サンパウロ州知事、ハダジ サンパウロ市長、ロブソンCNI会長、スカッフィFIESP会長等が又ドイツからはヨハヒム・ガウク連邦大統領、ドイツ産業連盟(BDI)のウルリッヒ・グリロ会長が列席	50人 2000人			PL ゴルフクラブ ワールド・トレード・センター
13					
14					
15					
16	日伯法律委員会(村上 廣高委員長)/Trench, Rossi e Watanabe Advogados アソシエートのプリシーラ・ファリセリ税務訴訟弁護士は、「連邦最高裁における対輸入品 PIS/COFINS 課税に関する判決」について/Kanamaru Advogados のルイス・エンリケ・バセテ 税部門責任者は、「連邦当局規範 1353号による変更点と今後の展望」について/P wC Brasil のマルセル・コルデイロ税部門共営者は、「給与ーコスト削減は可能か?」について/	65人			

	Pinheiro Neto Advogados のラファエル・ビスポ税制部門シニア弁護士は、「ICMS における税制戦争ー 決議第 13/2013 号施行に関する疑問と議会における現在の討議」についてそれぞれ講演した。				
17					
18	土曜日				
19	日曜日				
20					
21					
22	FEIPLASTIC 国際見本市がサンパウロで開催 / 見本市に招待された平田藤義事務局長は UBE (森本克二社長、出光 隆ミネラルグループリーダー)、Kuraray (帆足昭洋社長、汐見悠貴取締役、矢ヶ部信宏 (やかべ) アクア販売部主管、ジェネスタ事業部の宗澤裕二氏)、Mitsui Chemicals (岡部雅行社長、安井繁行技術マネージャー、神田 (こうだ) 拓ジェネラルマネージャー、佐藤新吾機能性ポリマー事業部課長 T P X チーム、小野木隆行機能性ポリマー事業部課長ミリオンチーム、樋口康弘ビジネス開発取締役) から展示製品や技術詳細について説明を授かった。				An h e m b i 会場
23	企業経営委員会 (黒子多加志委員長) の労働問題研究会/ BDO RCS Auditores Independentes 社のジャイロ・ソアレス共営者は、「中小企業活性化支援プログラム (PAC-PME)」について/ Ernst & Young Terco 社のタチアナ・カルモーナ・シニアマネージャー並びにアンジェリカ・アンドラーデ労働問題・社会保障部門マネージャーは、「デジタル簿記 (ESCRITURAÇÃO FISCAL DIGITAL, EFD-Social) / 公共簿記システム (Sistema Público de Escrituração Digital, SPED - Previdenciário)」についてそれぞれ講演	40 人			
24	ブラジル市場などの知識を広めるためメキシコのモンテレイ工科大学学生リーダーミッション一行 28 人が会議所を訪問 / 平田藤義事務局長がブラジル日本商工会議所の沿革、会員の推移、会議所の役割、組織 図、会議所の委員会並びに部会の活動や役割、公益団体としての使命と政府への提言、進出企業の増加傾向や業種別の進出企業、事務局の役割として電話や E メールに対する問合せに対する処理、増加の一途をたどる表敬訪問の対応、ホームページの充実、業種別の会議所訪問などについて説明/モンテレイ工科大学の Gisela Cante Reyes 教授、Pedro Carreon Gutierrez 教授、Consejo Mexico-Brasil (メキシコ・ブラジル商工会議所) の Marco A. Ramirez 営業部長、Centro Cultura Brasil Reforma の Michelle Cervantes リージョナル部長が参加				
25	土曜日				

26	日曜日 JAMSTEC（独立行政法人海洋研究開発機構）が所有する有人潜水調査船「しんかい 6500/よこすか」の特別公開に参加/サントス港への寄港を記念し各諸団体が特別公開の招待を受け、会議所からは伊吹洋二副会頭（丸紅ブラジル）、アラン朝倉（AUTHENT）、池田隆之（ジェットロ・サンパウロ 会議所理事会社）、渡辺健司（川崎重工 会議所理事会社）、鳴神 正（ミマキブラジル）、伊藤輝久（ムラタ・ド・ブラジル）、堀川良悦（サンワインターナ ショナル）、見目朋実（ヤマト商事）、平田藤義事務局長が参加。また続いて行われたサントス日本人会主催の懇親昼食会にも出席				サントス
27					
28					
29	Carta Capital 誌の Samantha Maia 記者が平田藤義事務局長並びにスターツ ブラジル社の森口義信氏にブラジルの物価高についてインタビュー				
30	聖体祭				
31	振替休日				

2013 年 6 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	土曜日				
02	日曜日				
03					
04					
05					
06	FIESP（サンパウロ州工業連盟）米国セミナーに出席/アメリカの経済、貿易、国際競争力などについて講演が行われ米伯間の連携などについてもプレゼンが行われた。 AGC 旭ガラスブラジルのメディア懇親昼食会/2013 年のコンフェデレーションズカップ及び2014 年のワールドカップブラジル大会への、FIFA 公式認定ガラスルーフのブランドライセンスを取得した同社はメディア懇親昼食会としてマスコミ及び関係各所へお披露目を行った。	平田事務局長 平田事務局長			サンパウロ州工業連盟
07	第 14 回工具機器・製造インテグレーションシステム見本市（FEIMAFE-）にムラタ・ド・ブラジル（村田機械ブラジル）から招待を受け、平田藤義事務局長が参加	平田藤義事務局長			
08	土曜日				
09	日曜日				
10					
11					
12					
13					
14	6 月の懇親昼食会/オズワルド 川上/ ペトロブラス サン투스海盆原油生産ゼネラル・マネージャーが「サン투스海盆と日本 -A Bacia de Santos e o Japão」題して講演 ニッケイ新聞によるアマゾン日本人移民 80 周年記念誌『アマゾン—日本人移民 80 周年』の出版記念会に参加	150 人 平田藤義事務局長			マクソウド・ホテル 日本移民史料館
15	土曜日				
16	日曜日				
17	サンパウロ州議会で行われたブラジル日本移民 105 周年記念式典に出席/主催者から会議所を含む日系主要 5 団体へ記念プレートが贈呈された。	平田藤義事務局長			サンパウロ州議会

18	開拓先亡者追悼大法要に藤井会頭が出席 ブラジル日本移民 105 周年記念行事の一環である先駆者慰霊ミサ（ブラジル日本文化福祉協会主催）がサン・ゴ ンサーロ教会で行われ日系諸団体や在サンパウロ総領事館などから多数が出席/平田事務局長は以下の文章を音読し祈りを捧げた。 『明日の社会を担っていく若者たちが その使命と責任をわきまえ、 新たな家庭を築き子弟の教育に意を注いでいく信念と勇気を持って 前進する事ができますように、主にいのりましょう。』	藤井晋介会頭 平田藤義事務局長			文協記念大講堂 サン・ゴ ンサーロ教会
19					
20	Valor Econômico 主催の Roberto Azevêdo 世界貿易機関（WTO）次期事務局長の講演会へ会議所から矢部健太郎 日伯経済交流促進委員会副委員長、平田藤義事務局長が出席/テーマは「世界貿易の新たな局面」と題しパネルディスカッション形式でディベートが行われた。	平田藤義事務局長			
21					
22	土曜日				
23	日曜日				
24					
25	ドイツ会議所との会合 /今年下半期に開催予定で企画中の両国会議所間の交流会、先般 5 月 13 日開催された第 3 1 回独伯合同会議、E U とメルコスール F T A 協定或いはドイツとブラジル単独による協定の可能性、昨今のブラジル国内デモに関する見解等、幅広く意見交換を行った。/ Mazak 社は顧客向けサポート拠点「ブラジルテクノロジーセンター」を移設・拡充/名誉顧問の福嶋教輝 在サンパウロ日本国総領事/坪井領事が参加	平田藤義事務局長/日下野成次総務担当			ヴィニエード（Vinhedo）市
26					
27	企業経営委員会（黒子多加志委員長）の労働問題研究会/ Pinheiro Neto Advogados のテレザ・クリスティーナ・カルネイロ・シルヴァ・シニア弁護士は、「職場におけるモラルハラスメント」について/ TozziniFreire Advogados のアンジェロ・アントニオ・カブラウ労働問題弁護士は、「職場における健康管理と安全：これまでの経緯と憲法、法的観点から。民事責任における論点など」についてそれぞれ講演	35 人			
28	運輸サービス部会（森田透部会長）/ 8 月に開催される 2013 年下期の業種別部会長シンポジウ	18 人/平田藤義事務局長/日下野			

	ムの発表資料作成のために各セクターの発表資料制作の担当者の選出、次回の打ち合わせのスケジュール及び内容、9月に予定されているサントス港湾視察スケジュール、準備事項の確認などについて大いに意見交換 平成 25 年度春の叙勲伝達・祝賀会に事務局長が出席 /日系社会の功労が称えられ、小野亨右氏、宮尾進氏、シライシ・カゾシ氏がそれぞれ叙勲した。 ブラジル日本文化福祉協会（文協）で開催された日系団体共催の平成 25 年度春の祝賀会に参加	成次総務担当 平田藤義事務局 長 平田藤義事務局 長			サンパウロ総領事公 邸 ブラジル日本文化福 祉協会（文協）
29	土曜日				
30	日曜日				

2013 年 7 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	コンサルタント部会開催/都築部会長代行の帰国に伴って、部会長並びに副部会長選出で意見交換、副部会長には関根氏、トダ氏並びに今井氏を選出/8月20日に開催される業種別部会長シンポジウムの発表テーマを選ぶために7月中の部会開催、今後のコンサルタント部会の活動内容などについて意見交換/参加者は押切副部会（大野&押切弁護士事務所）、関根副部会長（個人会員）、トダ氏（Autent）、ヤマダ氏（Autent）、赤嶺氏（人材銀行ソールナッセンテ）、片岡氏（PwC）、今井氏（VMPG AG AUT DE INVESTMENTO）、平田事務局長、大角編集長	9人			
02					
03	会議所沿革データの充実化について打合わせ/元事務局長補佐の柴田千鶴子氏は在職中、70周年記録集編纂に多いに携わり、今回のデータ見直しには主に1960年代～80年代の資料纏め等に貢献している。/元事務局長補佐の柴田千鶴子氏、平田藤義事務局長、日下野成次総務補佐、アシスタントの中森アリセと近藤千里が出席	5人			
04					
05					
06	土曜日				
07	日曜日				
08	振替休日				
09	護憲革命記念日				
10	FIESP（サンパウロ州工業連盟）で行われたセミナー「産業競争力のキーポイント」へ会議所から平田藤義事務局長が出席、スイス政府の環境・輸送・エネルギー・通信担当のDoris Leuthard 大臣やヨーロッパ連合の企業家ミッションが参加	平田事務局長			
11					
12	異業種交流委員会（江上知剛委員長）/6月27日開催した講演会の収支決算や次回開催の講演会のテーマなどについて意見交換/江上知剛委員長、秋吉修司副委員長、平田藤義事務局長、中森アリッセ アシスタントが参加	4人			
13	土曜日				
14	日曜日				

15					
16					
17	7月の懇親昼食会/国際公共政策研究センターの 田中 直毅理事長がテーマ「日中韓の三国をめぐる 歴史的位相並びにブラジル写真機プロジェクト について」と題して講演	120 人			インターコンチネン タル・ホテル
18	日伯法律委員会（村上 廣高委員長） /TozziniFreire Advogados のファビア・エライ ネ・ダ・シルヴァ・モレイラ税制チームシニア 弁護士は、「大蔵省検察総局（PGFN）意見書 202 号/2013 配当金に対する所得税免税」 /Associada, Contencioso Tributário de Trench, Rossi e Watanabe Advogados のカロリ ーナ・マルティンス・スボジット税制社会保障 アソシエート弁護士は、「負債自己申告による 支払のメリット」/KPMG Brasil のレジーナ・モ ラレス労働・社会福祉部門マネージャーは、 「INSS（社会保障負担税）の売上ベース課税」 /Gaia, Silva, Gaede & Associados のマウリシ オ・バーロス部長は、「協定 ICMS 38/2013 号 一輸入品に対する商品流通サービス税（ICMS） 課税、主な変更点」についてそれぞれ講演 サンタカタリーナ視察見学会最終打ち合わせの 為相互啓発委員会（遠藤秀憲委員長）開催/7 月 26 日～28 日実施されるサンタカタリーナ視察見 学会について会員企業 SHT 旅行 社の渥美誠社 長、エリオ・トダ マネージャーを招いてバス内での 余興（クイズなど）や注意事項などについて 最終打ち合わせが行われた。会議所からは遠藤 委員長、平田藤義事務局長、日下野成 次総務補 佐が出席。	48 人 5 人			
19					
20	土曜日				
21	日曜日				
22	JICA 主催の第 2 回中南米民間連携調査団との意 見交換会/中南米地域への進出を検討する民間企 業を対象にブラジル、ペルーの市場や ODA との 連携事例実見を通し、中南米への理解を深める とともに日系社会及び JICA とのパートナーシッ プの促進を図ることを目的に開催/第 2 回中南米 民間連携調査団 参加者リスト 1 東洋農機（株） 常務執行役員 大橋 敏伸 2 （株）キンセイ産業 常務取締役 金子 啓一 3 （株）日本製鋼所 業務管理部 原 崇 4 （有）ケイ・アンド・ケイ板金工業 代表取締役 知花 賢伸 5 （株）エステム 海外部部長 丸山 武夫 6 （株）フジキン 生産本部部長 吉田 恒夫 7 関西工事測量（株） 販売促進部主任 岡野 育恵 8 広和エムテック（株） 取締役 山本 隆教 9 （株）ネオナイト 専務取締役 寺山 文久	19 人			

	10 沖縄県中小企業団体中央会 事務局長 上里 芳弘 11 (株) ゆらリズム 取締役 大野沢 潔 12 明和工業(株) 代表取締役 北野 滋 13 四国化工機(株) 顧問 大田 昌平 JICA 小林千晃取締役 岩永アシスタント 坪井アシスタント 商工会議所 相原良彦機械金属部会長(ブラジル三菱重工社長) 柳瀬 友城(ブラジル三菱重工副社長) 江上知剛専任理事/異業種交流委員長(双日ブラジル顧問) 大竹 茂 (タカタブラジル社長) 平田藤義事務局長				
23	Sinproquim で開催された「ブラジルの貿易が抱える問題点ー主なセクターの現状と展望ー」と題した、ジョゼ・アウグスト・デ・カストロ ブラジル貿易協会会長の講演会に、会議所から平田藤義事務局長 建設不動産部会(三上悟部会長)開催/2013 年下期の業種別部会長シンポジウムの上期の回顧並びに下期の展望及び副題「～ どうなるブラジル経済ー持続的成長に向けて ～」の発表資料作成、部会活動方針、部会親睦ゴルフなどについて意見交換/参加者は三上部会長(戸田建設)、南副部会長(デニブラ)、大滝氏(ホス建設)、藤井氏(CGC)、マキオ氏(ENGEMON ENGENHARIA)、森口氏(STARTS I M O B I L I A R I A)、佐藤氏(YKK)、長田氏(徳倉建設)、遠藤副領事(サンパウロ総領事館)、平田藤義事務局長、大角編集長	平田事務局長 11 人			
24					
25	食品部会(天野一郎部会長)開催/2013 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/組織変更として部会長に山口 修一氏(南米不二製油)、副部会長として清水 重人氏(イグアス)、岡崎 徹氏(日清味の素)を再選出/参加者は天野部会長(ヤクルト)、山口新部会長(南米不二製油)、清水副部会長(イグアス)、岡崎副部会長(日清味の素)、西井氏(味の素)、パウロ・ツカモト氏(NAGASE)、唐木氏(ニアグロ)、石嶋氏(ヤクルト)、山田氏(東山農産)、見目氏(ヤマト商事)、遠藤副領事(サンパウロ総領事館)、平田事務局長、大角編集長	13 人			
26	企業経営委員会(黒子多加志委員長)の労働問題研究会開催/Trench, Rossi e Watanabe	35 人			

	Advogados 弁護士事務所のエリカ・セリン・サルビ・コンプライアンスシニア弁護士は、「コンプライアンスとアンチ汚職新法案にむけて企業はどのように対策を進めるべきか」/Souza, Cescon, Barrieu & Flesch Advogados 弁護士事務所のライザ・フェルナンデス・ダ・シルヴァ労働部門弁護士は、「従業員利益配分制度の直近の変更点とその適用」についてそれぞれ講演 相互啓発委員会（遠藤秀憲委員長）主催のサンタカタリーナ視察見学会/ヤクルトとサンジョアキン農業協同組合（SANJO）の2社を見学	40 人			
27	土曜日 相互啓発委員会（遠藤秀憲委員長）主催のサンタカタリーナ視察見学会				
28	日曜日 相互啓発委員会（遠藤秀憲委員長）主催のサンタカタリーナ視察見学会				
29					
30	運輸サービス部会開催/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で意見交換/参加者は山九の森田部会長、NYK の川手副部会長、日通の細谷副部会長、MOL の廉岡 氏、UBIK の岐部氏、JAL の伊勢谷氏、ANA のエドアルド・サカモト氏、ブルーツリーホテルの広瀬氏、EISHIN の谷口氏、SAUZUYO の村田 氏、東京ソフトの上野氏、K-Line の高島氏、NTT の長合氏、クイックリートラベルの生駒氏、サンパウロ総領事館の遠藤副領事、平田事務局長、大角編集長	17 人			
31	平田事務局長がサンパウロ州工業・石油化学用化学品工業組合（Sinproquim）のセミナーに参加 機械金属部会開催/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で意見交換/参加者は相原部会長（三菱重工）、金丸副部会長（メタルワン）、木村氏（CBC）、元山氏（ブラジル KBK）、櫻井氏（コマツ）、西村氏（ミットヨ）、渡辺氏（カワサキ）、杉原氏（OSG）、宮崎氏（MMC）、平井氏（MARUBENI ITOCHU）、中江氏（TSUBAKI BRASIL EQUIP IND）、岸氏（ユシロ）、北原氏（ヤンマー）、遠藤副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集長	平田事務局長 16 人			

2013 年 8 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	金融部会（山崎 展生部会長）/2013 年下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は山崎部会長（ブラデスコ銀行）、高橋副部会長（ブラデスコ銀行）、遠藤氏（南 米安田保険）、横路氏（イタウー銀行）、村田氏（ブラジル三菱東京UFJ銀行）、川原氏（ブラジル三菱東京UFJ銀行）、村山氏（東京海上）、大谷氏（ブラジル三井住友銀行）、原氏（ブラジル三井住友保険）、堀内氏（みずほコーポレート銀行）、安井氏（JBIC）、今井氏（VMPG）、山口専門調査員（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、大角編集長				
02	繊維部会（上野秀雄委員長）/下期の業種別部会長シンポジウムの発表資料作成で大いに意見交換/参加者は、上野部会長（クラシキ）、横山副部会長（オオミ繊維工業）、小金沢副部会長（日清紡）、柴垣氏（サンヨーテックス）、岡田氏（ユニチカ）、山本氏（東洋紡）、平岡氏（ダイワボウ）、橋本氏（YKK）、安井氏（東レ）、平田事務局長、大角編集長				
03	土曜日				
04	日曜日				
05	監事会/2013 年第 2 四半期の業務・会計監査を実施/中村敏幸監事会議長（デロイト）、藤井敏晴監事（KPMG）、原敬一監事（ブラジル三井住友保険）/事務局からは平田藤義事務局長、エレナ・ウエダ会計担当、日下野成次総務担当が参加				
06	講師にブラジル三菱東京 UFJ 銀行の川原 一浩取締役を迎えて、金融セミナーを開催/、テーマ『ブラジル為替・金利見通し ～乱高下！ ドル・リアル・円 三つ巴のパズルを紐解く～』	50 人			
07	植木シゲアキ元鉱山動力大臣主催の第 12 回鈴木孝憲フォーラムに大勢が参加/T a k a n o r i S u z u k i フォーラム（旧称：日伯ビジネスフォーラム）が新東ブラジル社創立 40 周年記念の夕食会と併せて開催				
08					
09	懇親昼食会/物流システム計画公社（EPL）のセザール・アウグスト・ド・ナッシメント補佐官が「ロジスティックへの投資プログラムと大西洋～太平洋への物流アクセス」と題して講演 自動車部会（武田川 雅博部会長）/業種別部会長シンポジウムの発表資料作成でドラフト資料を基に意見交換/参加者は武田川部会長（ホンダサウスアメリカ）、福井副部会長（デンソーブラジル）、岡本氏（ホンダサウスアメリカ）、長田氏（アイシン）、末氏（ホンダサウスアメリカ）、久保氏（ホンダサウスアメリカ）	150 人			チボリホテル

	カ)、宮崎氏 (NGK)、大竹氏(タカ タブラジル)、吉田氏(出光)、小笠原氏 (JX NIPPON OIL&ENERGY)、杉浦氏 (マツダ)、辻氏 (ナガセ)、森氏 (大塚化学)、金城氏 (Nitto Denko)、森川氏 (豊田通商)、田中氏 (メルコ)、清永氏 (G-KT DO BRASIL)、二木氏 (ミドリ・アトランチカ)、深瀬氏(ジェット ロ・サンパウロ)、山口専門調査員 (サンパウロ総領事館)、平田事務局長、大角編集長				
10	土曜日 伊吹副会頭、第 19 回ジャパンカップに参加	平田事務局長			
11	日曜日 ブラジル香川県人移住 100 周年記念式典/母県から浜田恵造知事、水本勝視県議会議長をはじめとする慶祝団が出席、関係者らを含め約 300 人が参加	平田事務局長			
12	電気電子部会 (三浦 修部会長) /業種別部会長シンポジウムの発表資料作成/参加者は三浦部会長 (ソニー)、君崎副部会長 (ムラタ ワールド)、黒田副部会長 (NEC ラテンアメリカ)、椎名氏 (富士通ジェネラル)、篠原氏 (パナソニック)、丸岡氏 (プリモテック 21)、山口専門調査員 (サンパウロ総領事館)、平田事務局長、大角編集長				
13	化学品部会 (藤下 温雄部会長) /参加者は藤下部会長 (ハリマ化成)、大澤副部会長 (ダイカラー)、高橋副部会長 (K- I ケミカル)、石成副部会長 (フジフイルム)、滝沢氏 (久光製薬)、吉田氏 (南米出光)、塚本氏 (長瀬産業)、井上氏 (栗田工業)、金城氏 (Nitto Denko)、松下氏 (住友化学)、池田氏 (住友化学)、一之瀬氏 (住友コーポレーション)、渡辺氏 (東洋インキ)、安井氏 (東レ)、森本氏 (宇部ラテン アメリカ)、遠藤副領事 (在サンパウロ日本国 総領事館)、平田事務局長、大角編集長 2013 年下期の業種別部会長シンポジウム案内に邦字新聞社 2 社を訪問 /上野秀雄総務委員長並びに平田藤義事務局長				
14					
15	NHK 中島サンパウロ支局長の歓迎会/福嶋サンパウロ総領事をはじめ日系社会の各有志が参加	平田事務局長			サンパウロ市内のレストラン
16	環境委員会 (廣瀬 孝委員長) / 10 月に開催予定のバイオマス、太陽熱利用、風力発電、太陽光発電、水力発電などすべて再生可能エネルギーなどの環境セミナーについて、ドラフト資料を基に意見交換/参加者は 廣瀬委員長 (南米新日鐵住金)、座間副委員長 (BASE)、平沼副委員長 (南米新日鐵住金)、ドウグラス・ロシン氏 (Pwc)、フラヴィア・タケウチ氏 (Pwc)、片岡氏 (Pwc)、平田事務局長、日下野総務担当、大角編集長				

17	土曜日				
18	日曜日				
19	三重県の鈴木 英敬知事一行との意見交換会/初めに鈴木 英敬知事並びに三重県議会の山本勝 議長がそれぞれあいさつを行い、サンパウロ総合大学と三重大学との学部間協定の締結を報告、またジェトロ・サンパウロセンターの石田靖博所長が「ブラジル経済とビジネスの動向」で講演、意見交換会では天野一郎副会頭、上野秀雄専任理事、遠藤秀憲専任理事、平田藤義事務局長が参加/平 田事務局長はドイツ会議所会員は1600社に対して、日本商工会議所会員は400社にすぎず、またEU諸国並びに周辺7カ国、韓国はすでにビザフリー、中国にもマルチビザで先行されており、日本からの中小企業進出を促進する上でビザフリーは避けて通れないと強調、それに対して鈴木 英敬知事はビザフリーについても大いにバックアップしてゆくと強調、平田事務局長は鈴木 英敬知事の熱い思いに感激してお礼を述べ、最後に鈴木 英敬知事から天野一郎副会頭に記念品が贈られた後（上野専任理事と遠藤専任理事には後日米田利耕氏を通し贈呈された）、参加者全員で記念撮影が行われた。				
20	2013 年下期の業種別部会長シンポジウム	160 人			マクソウドホテル
21					
22	日伯法律委員会（村上 廣高委員長）/ Honda Estevão Advogados 弁護士事務所のリタ・デ・カンシア・テイシェイラ共営者並びにルイス・ロベルト・シルヴァ弁護士が「SISCOSERV - Sistema Integrado de Comércio Exterior de Serviços, Intangíveis e de outras Operações que produzam variação no Patrimônio サービス・無形資産ならびに財産に相違を生じさせるその他のオペレーションにまつわる貿易統合処理システム」/ Deloitte Touche Tohmatsu 企業コンサルタントのペドロ・パウロ・メンデス社会保障部門マネージャーが「契約社員雇用におけるリスク管理」/ Ernst & Young の矢野クラウジオ税制部門コンサルタントが「暫定的課税方式（RTT）における対資本税務金利の算出—連邦収税局の見解」についてそれぞれ講演	56 人			
23					
24	土曜日				
25	日曜日 日 AU（アフリカ連合）議員連盟所属 3 議員との意見交換会 /三原朝彦議員（日 AU 議連幹事長）、三ツ矢憲生議員（自由民主党 政務調査会会長）と山際大志郎議員（内閣府大臣政務官）と共に会議所の藤井晋介会頭、伊吹洋二副会頭、平田事務局長がインフラやブラジルコスト等ブラジル経済の問題点、また、アフリカ（モサンビーク、ボツワナ等）でビジネスを行っている在伯日本進出企業の関心分野等について奥深い意見交換を行った。/総領事館か				

	ら福嶋教輝総領事、佐野浩明首席領事、遠藤諭副領事が参加、JICA ブラジル事務所の室澤智史所長、JICA アフリカ部の乾英二部長、HIDA 総合研究所の下大澤祐二事務局長が参加				
26					
27					
28	異業種交流委員会では真宗大谷派（東本願寺）南米開教区開教監督の菊池顕正氏を招待して講演会開催	36 人			日本語センター
29	企業経営委員会（黒子多加志委員長）の労働問題研究会/ Ferreira Rodrigues Sociedade de Advogados 弁護士事務所のジュリオ・ジョゼ・タマジウナス・シニア弁護士は、「変形労働時間・シフト勤務の法律面」/ Deloitte Touche Tohmatsu 外国人労働者税務部門のロサノ・ジアン・シニアマネージャーは、「国外の対ブラジル社会保障協定、一時派遣証明書、企業及び社員による社会保障院（INSS）納付」についてそれぞれ講演 ドイツ商工会議所との交流会開催/平田藤義事務局長がブラジル日本商工会議所活動の現状と将来課題である基盤強化についてプレゼンを行った。	50 人 各会議所から 20 人			ブラジルドイツ商工会議所
30					
31	土曜日				

2013 年 9 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	日曜日				
02	㈱ADEKA のオープン式に平田藤義事務局長が出席/日本本社からは郡 昭夫代表取締役社長及び北條 修司取締役兼執行役員が駆けつけ華やかに式典が執り行われた。式典では先ず郡代表取締役社長が開会 の挨拶を行い、続いてブラジル現地法人の貴嶋長太郎取締役社長が挨拶を行った。鏡開きの後、平田事務局長が乾杯の音頭を取り盛大にオープンを祝った。				
03	リオ・グランデ・ド・スール州ビジネス投資セミナーに 50 人が参加/南大河州政府投資促進・開発エージェンシーのイヴァン・デ・ペレグリン代表が「南大河州の工業政策」と題して/州政府投資促進・開発局税制担当のレオナルド・ガフリ・ディアス・アシスタントは「税制並びにファイナンスのインセンティブと恩典」と題して/南大河州政府投資促進・開発局のマリエラ・クレイ官房室長は、「日本への南大河州ミッション」と題して、初めに 2011 年から商工会議所の平田藤義事務局長とパートナーを組んでのサポートに対してお礼を述べ、BADESUL 銀行のマルセロ・ロペス頭取は、「南大河州における外資系企業の成功例」と題して、それぞれ講演を行った。				
04	メルコスール事務局本部のイヴァン・ハマリーヨ事務総長を J E T R O ・サンパウロおよび会議所が訪問/今回の一番の関心事である E U との協定に向けた具体的な進捗状況について又、日本を含めた他地域との F T A 協議の可能性、南米中央に位置するボリビアの重要性、地政学から見たメルコスール、CAN 加盟国の二重加盟問題、太平洋同盟との関係、パラグアイの再加盟についても Q & A 形式で意見交換を行った。会合にはイヴァン、同本部のゴンザロ・ロドリゲス官房室長、カーシア秘書等 4 人が J E T R O から石田靖博所長、紀井寿雄取締役、森下龍樹取締役が、会議所からは伊吹洋二会議所副会頭、平田藤義事務局長が会合に参加した。 サンパウロ総領事館主催の岸田文雄外相との意見交換会/三輪在伯大使、福嶋サンパウロ総領事が参加/会議所からの参加者は藤井晋介会頭（ブラジル三井物産）、村田俊典副会頭（ブラジル三菱東京 UFJ 銀行）、上野秀雄専任理事（クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル）、江上知剛専任理事（双日ブラジル会社）、廣瀬孝専任理事（南米新日鐵住 金）、遠藤秀憲専任理事（南米安田保険）、黒子多加志専任理事（伯国三菱商事会社）、相原良彦機械金属部会長（三菱重工）、川手純一運輸サービス副部会長（NYL				

	Line)、末一義自動車部会長代理(ホンダ・サウスアメリカ)				
	岸田文雄外相訪伯懇談歓迎会が2013年9月4日午後7時からブラジル日本文化福祉協会(木多喜八郎会長)貴賓室で開催され、商工会議所を代表した上野秀雄専任理事など18人の会員が参加した。				
05	FIESPの港湾戦争セミナーに平田事務局長が出席/テーマは「港湾戦争ー2013年1月1日から施行された連邦上院の決議第13/2012号の最近の変更点」について講演/このセミナーはFIESP法務部のオジエル・エステヴァン取締役補佐がコーディネート、またサンパウロ州財務局(Sefaz)のマルセロ・ベルガマスコ・シルヴァ行政担当取締役、Sefazの税制担当のレオナルド・デグレゴリオ顧問が参加。				
06					
07	土曜日				
08	日曜日				
09					
10					
11					
12	総務委員会(上野秀雄委員長)/上野秀雄委員長並びに平田藤義事務局長、日下野成次総務担当が参加、定款改定について最終の打ち合わせを行った。				
13	9月の懇親昼食会は120人が参加して開催/、ロンドンオリンピック銅メダル、世界柔道選手権大会2連覇(2009年、2010年)をはじめとして、国内外で数々のタイトルを獲得している日本女子柔道の第一人者、上野順恵氏を講師に迎えて開催 ブラジル三菱東京UFJ銀行主催の講演会と懇談会/ゲストスピーカー:武田紀久子(三菱東京UFJ銀行 欧州金融市場部シニアアナリスト/テーマ:「為替相場の現状と展望」 場所:シントリ・レストラン	120人			インターコンチネンタルホテル
14	土曜日				
15	日曜日				
16					
17	日伯法律委員会(村上 廣高委員長)は、会員企業であるPinheiro Neto Advogados及び同提携先の森・濱田松本法律事務所との共催による日本法との比較から見るブラジル労働法研究会/	160人			Pinheiro Neto Advogadosの大会場

	森・濱田松本法律事務所の荒井太一弁護士並びに Pinheiro Neto Advogados のルイス・メンデス弁護士は、英語でアウトソーシング並びにモラルハラスメント、ストップオプションについて講演、				
18					
19	日伯法律委員会（村上 廣高委員長）開催 /Tozzini Freire Advogados のカミーラ・タピ アス税制チームシニア弁護士が「反汚職法と税法」について/PwC Brasil のエドアルド・アダ ミ弁護士が「REIDI インフラ開発の特別インセン ティブ法について－社会統合基金（PIS）／社会 保険融資納付金（COFINS）」について /Felsberg e Associados のレナート・アルメイ ダ弁護士が「商品流通サービス税（ICMS）累積 クレジット：メリット、デメリットと選択肢」 についてそれぞれ講演	48 人			
20					
21	土曜日				
22	日曜日				
23	第 16 回日本ブラジル経済合同委員会開催/日本 から経団連の飯島彰己日本ブラジル経済委員 長、同委員会の大前孝雄企画部会長、三 輪昭駐 ブラジル大使、讃井暢子常任理事など 110 人以 上が参加、ブラジルからはブラジル全国工業連 盟（CNI）のジョゼ・マスカレーニャスブラジ ル日本経 済委員長、ロブソン・ブラガCNI 会 長、オラボ・マシャード ミナスジェライス州 工業連盟会長など 150 人以上が参加/オラボ・マ ッシャード ミナスジェライス州工業連盟会長/ ジョゼ・マスカレーニャス ブラジル日本経済 委員長/飯島彰己 経団連日本ブラジル経済委員 長/ロブソン・ブラガ CNI 会長/アンドレ・コヘ ーア 在日ブラジル国特命全権大使/三輪昭 在ブ ラジル日本国特命全権大使/アントニオ・アナス タジア ミナスジェライス州知事/ジョゼ・アウ グスト CNI 政策戦略部長/ペドロ・バストス ブ レインブラジル投資貿易振興機構総裁/村田俊典 三菱東京UFJ 銀行執行役員・中南米総支配人/ 永田義典 アグレックス・ド・ブラジル社長/ロ ベルト・ジアネッチ サンパウロ州工業連盟/ダ ニエル・ゴジューニョ ブラジル開発商工省貿易 局長官/カルロス・ビッテンクール CNI ディレ クター/讃井暢子 経団連常務理事/大前孝雄 経 団連日本ブラジル経済委員会企画部会長/伊吹洋 二 丸紅執行役員南米総支配人兼ブラジル会社社 長/インフラ基礎産業協会（ABDIB）のシャブ・ マリア・パウラ氏/EPL 社のアンデルソン・レッ サ氏/星文雄 国際協力銀行代表取締役専務取締 役/舩田篤史 東芝社会インフラシステム南米社 会長/伊澤正 千代田化工建設常務執行役員/ラフ ァエル・ルチェッシ 全国工業職業訓練機関ディ レクター/エネス・ヴィレーラ カマルゴ・コヘ ーア社人事部ディレクター/岩山明郎 日立ブラ ジル社長/大口昌芳 三菱商事船舶・宇宙航空事 業本部 宇宙航空機部 宇宙・統合システムチー ムリーダー	250 人/平田事務 局長/大角編集長			ミナス州ベロ・オリ ゾンテ市のオウロ ミ ナスパレスホテル

24	第16回日本ブラジル経済合同委員会開催/ウィルソン・ブルメールGRP インベストメントディレクター/ ムリーロ・フェレイラ ヴァーレ社長/ロベルト・ロドリゲス サンパウロ州工業連盟農業委員長/藤原真一 新日鐵住金常務執行役員/、ペドロ・ウオンチョウスキ ウルトラグレーブ代表取締役社長/ゴットフリード・エンゲルバート ペトロブラス調達コーディネーター/ミナスジェライス州砂糖協会のジミー・オリベイラ氏/岩本宏常務執行役員 営業・グローバル戦略本部長/TOYO SETAL の鴨島元佳社長/三井物産の金森健常務執行役員 プロジェクト本部長/飯島彰己 経団連日本ブラジル経済委員長/ジョゼ・マスカレーニャスブラジル日本経済 委員長	250人/平田事務局長/大角編集長			ミナス州ベロ・オリゾンテ市のオウロ ミナスパレスホテル
25					
26	企業経営委員会（黒子多加志委員長）の労働問題研究会/Abe, Costa, Guimarães e Rocha Neto Advogados 弁護士事務所のプリシーラ・モレイラ弁護士は「労働契約書の特別条項（競業禁止、勧誘禁止、機密性および永続性）」について/Souza, Cescon, Barriau & Flesch Advogados 弁護士事務所のヴィヴィアニ・ロドリゲス弁護士は「ブラジルにおける変動給与の異なる体系」についてそれぞれ講演 異業種交流委員会では高橋ジョー氏を招いて講演会/生前の手塚治虫氏とブラジルの漫画家 Mauricio de Souza 氏の交友時のエピソード等非常に興味深いご講演	35人 32人			日本語センター
27	運輸サービス部会（森田透部会長）主催のサントス港湾インフラ視察会/スクーターでサントス港湾のインフラを海上より見学した。その後ペトロブラスのオズワルド川上サントス海盆原油生産ゼネラル・マネージャーと会合を行い、ペトロブラスのプレゼンと意見交換	42人			サントス港
28	土曜日 CIATE 国際シンポジウムに平田事務局長が出席/CIATE(Centro de Informação e Apoio Ao Trabalhador no Exterior)の国際シンポジウムーコラボドレス会議「デカセギ現象の湧起から25年、ブラジル日本間の移住のこれからの潮流」/基調講演では外務省在外ブラジル人コミュニティ担当次官補室付 ロベルト・バレンチ一等書記官が「在日ブラジル人コミュニティに対するブラジル外務省の事業」について説明				文協
29	日曜日				
30					
31					

2013 年 10 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	環境委員会（廣瀬孝委員長）並びに PricewaterhouseCoopers 社（PwC）共催の英語による「再生可能エネルギー 世界とブラジルのトレンド」セミナー/講師は PwC 社のエルネスト・カヴァジン取締役並びにジョアン・ヴィートル・グイリョット シニアマネージャー	35 人			
02	平成 25 年度外務大臣表彰受賞式典/受賞者は、赤木 政敏（南米相撲連盟 顧問）氏、佐藤 風太郎（元ノロエステ連合日伯文化協会副会長）氏、山根 英太郎（日本政府文部科学省国費留学生同窓会 名誉会長）氏の 3 名。	天野一郎副会頭（日系社会委員長）			
03	貿易部会（伊吹洋二部会長）の第 1 回メディカル分科会開催/分科会長に藤田誠氏、副分科会長に栗田秀一氏（日本光電）、加藤彰彦氏（島津製作所）が選ばれ、栗田秀一副分科会長を選出//藤田誠分科会長は、ブラジルは医療規制が厳しく、一社で解決するのは難しいが、商工会議所の組織として、また日本政府並びに大使館、総領事館、ジェトロと一緒に活動して、メキシコにおける薬事同等性認定に漕ぎ着けた経験を生かしたいと述べた後で、参加者が自己紹介を行い、それぞれ ANVISA 問題の経験談を報告した。	17 人			
04					
05	土曜日				
06	日曜日				
07	JORNAL NIKKEY SHIMBUN の 15 周年記念式典/JORNAL PAULISTA と DIARIO NIPPAK が合併し誕生した JORNAL NIKKEY SHIMBUN の 15 周年記念式典が文協にて行われ、会議所から藤井晋介会頭と矢部健太郎 日伯経済交流促進委員会副委員長及び平田藤義事務局長が出席				
08	第 4 回磐田信用金庫経済ミッションとの意見交換会 /平田藤義事務局長が会議所の沿革、組織、委員会や部会活動、事務局の役割や全世界に向けた情報発信、様々なセクターとの意見交換、両国政府への提言や他国会議所との連携など会議所活動全般について説明/参加者は小松工業株式会社の小松敏幸社長、中部メタル株式会社の野末昶夫常務取締役、磐田信用金庫アジア・ブラジル業務支援デスクの相川アンジェラ氏、Lautenschleger, Romeiro e Iwamizu 弁護士事務所のマリオ・イワミズ共営者、リカルド・ササキ日伯法律副委員長（味の素）、平田藤義事務局長、日下野成次総務担当				
09					
10	中部経済連合会主催の在サンパウロ総領事館及びブラジル日本商工会議所との夕食懇談会/会議所から藤井晋介会頭、伊吹洋二副会頭、江上知剛専任理事、林正樹専任理事、遠藤秀憲専任理				インターコンチネンタル・ホテル

	事、黒子多加志専任理事及び事務局長が出席				
11	10月の懇親昼食会/abecem.comのディレクターであり、元アルゼンチン産業・商業・工業局長のダンテ・シカ氏はテーマ：「アルゼンチン情勢とその展望」について講演	140人			マクソウド・ホテル
12	土曜日				
13	日曜日				
14	知的財産協会との意見交換会開催 /日本側から日本知的財産協会常務理事で日本ヒューレット・パッカートの宮下智子知的財産部長、キリン株式会社R&D本部 知的財産部知財創造担当の原田基弁理士、三井化学株式会社知的財産部R&Dサポートグループの山本大祐弁理士、第一三共株式会社戦略本部知的財産部 特許第一グループ課長代理の児玉博宣弁理士、ブラジルの弁護士資格を所有する日本技術貿易株式会社IP総研のロベルト・カラベト客員研究員、日立国際電気知的財産権本部第一部の立花淳平弁理士、株式会社東芝研究開発センター知的財産部の石原信也氏、商工会議所から大塚順氏（キャンボンブラジル）、相原良彦氏（ブラジル三菱重工）、廣瀬孝氏（南米新日鐵住金）、磯村恵次郎氏（エプソンブラジル）、三浦修氏（ソニー）、深瀬聡氏（ジェトロサンパウロ事務所）、平田藤義事務局長	14人			
15	FIESPの海外投資家グループの会合に参加	平田事務局長			
16					
17	日伯法律委員会（村上 廣高委員長）/Trench, Rossi e Watanabe Advogadosのマリーナ・ペルフェッタ税制担当アソシエートは、「ISS - 課税戦争」/Pinheiro Neto Advogadosのクリスティアーネ・マツモト・ガーゴ弁理士は、「利益・実績配分制（PLR）における社会保障給付管理」/KPMG Brasilのウイリアム・カレガリ・デ・ソウザ税担当ディレクターは、「技術革新への税法上特権」/EYのクラウジオ・ヤノ税制コンサルタント部門ディレクターは、「連邦収税（RFB）1.397/2013号 - 暫定的課税方式（RTT）と税クーポン発券機（ECF）」/Abe, Costa, Guimarães e Rocha Neto Advogadosのアドリアノ・ベゼーラ弁理士は、「情報機密の保護と、インターネット上の法規制」についてそれぞれ講演	40人			
18					
19	土曜日 中村勉氏を偲ぶ会/「故人を偲ぶ会」は二宮正人C I A T E理事長（サンタクルース評議会会長）が主導開催、イナシオ森口忠義 元日伯援護協会会長（現移民史料館委員長、元ブラジルキリスト教連盟会長）が牧師役を勤め、親族からの挨拶後、特に旧交のあった来賓としてデルフィンネット（元企画/大蔵大臣）時代の池田昭博元大統領 府企画庁経済特別補佐官、原敬一 三井住友保険社長（当会議所監事）、矢部健太郎三井物産取締役（当会議所、日伯経済	平田事務局長			

	交流促進副委員長）等が故人を偲び 挨拶を行った。				
20	日曜日				
21					
22	Sinproquim - 講演 José Roberto Mendonça de Barros、テーマ：「経済と政治におけるマクロ経済の展望」 KANEKA SOUTH AMERICA REPRESENTAÇÃO Ltda のオープン式	平田事務局長 平田事務局長			
23	監事会は 2013 年第 3 四半期の業務・会計監査を実施/監事会から中村敏幸監事会議長（デロイト）、藤井敏晴監事（KPMG）、原敬一監事（ブラジル三井住友保険）、財務委員会から村田俊典委員長（ブラジル三菱東京 UFJ 銀行）が参加/事務局からは平田藤義事務局長、エレナ・ウエダ会計担当、日下野成次総務担当が参加				
24	在サンパウロ総領事館の主催で行われた日系主要 5 団体の意見交換会/議所から天野一郎副会頭（日系社会委員長）と上野秀雄専任理事（総務委員長）が出席 10 月の企業経営委員会（黒子多加志委員長）の労働問題研究会/KPMG のレジーナ・モラエス労働・社会福祉問題シニアマネージャーは、「E-Social」/Dannemann Siemsen Advogados のマリーナ・イネス・カラカニアン パートナーは、「外国からの技術的労働に関する契約を結ぶ際の国立工業所有権院（INPI）による登録の必要性」についてそれぞれ講演	55 人			
25	第 7 回日伯貿易投資促進合同委員会（略称：日伯貿投委）/医療機器機の承認審査の迅速化については当ブラジル日本商工会議所のメディカル分科会から以下の内容で発言した。2013 年 9 月の外務大臣会談に於いて日本側からビジネス環境整備の一環として、「ANVISA の承認手続きの迅速化」について提案が行われ、フィゲイレド外相からも「よい提案であり、検討したい」とコメントがあったと聞いている。本 件の実現に向けて、日本としても協力できるところはして行きたいので、これを協議するための機関や窓口をブラジル側に設けて頂きたい旨要望。/この要望の根底にあるのは、「ブラジルに貢献したい、ブラジル国民の健康に貢献したい」という日本の医療関係者や企業の気持ちであることをご理解くださいと訴えた。背景には日本の「高度」で「高品質」な医療機器製品を少しでも早くブラジル国民のために使っていただけるようにしたいという狙いがある。/ANVISA の承認手続きの迅速化の課題と考えている点、具体的には以下の 2 点に 集約されると説明。1) ブラジル国外工場の GMP 査察に申請から承認まで約 2 ～ 3 年の時間がかかる。（GMP とは、BPF (Boas Praticas de Fabricacao)を指し、適正製造基準、医薬品製造管理および品質管理基準の				ブラジル

	事) 2) 同じく、医療機器製品の薬事登録の申請から承認まで約1年を費やしている。GMP査察について日本企業から8例のサンプルを基に、申請から査察開始まで平均590日、申請から承認まで775日、長いものは931日掛かっていると実例を発表。/サンタカタリーナ産の豚肉の輸出、ブラジルの熱処理牛肉の輸出再開、フリーゾーンによる輸出加工区における規制と投資機会についてブラジル側から報告説明、JETROサンパウロから輸出加工区の日本企業に紹介する意図について打診、アベノミックスにおける新興国への企業進出促進、茂木大臣による中小企業海外展開プラットフォーム事業の立ち上げ、ブラジル日本商工会議所と伴に各種セミナーの開催、投資ミッション、MEDIC傘下のRENAIとの協力関係について説明。				
26	土曜日				
27	日曜日				
28	山形県議会議員との意見交換会/平田藤義事務局長が会議所の沿革、組織、委員会や部会活動、事務局の役割や全世界に向けた情報発信、様々なセクターとの意見交換、両国政府への提言や他国会議所との連携など会議所活動全般について説明。/山形県議会から野河政文議員/視察団長、小松伸也議員、鈴木孝議員、菅原元議員、石黒覚議員、常盤茂樹自民党県議会専従職員、伊藤重成事務局長、コンサルタント副部会長の 大野&押切弁護士事務所の押切フラビオ共営者、ツニブラトラベルの小宮陽取締役、平田藤義事務局長				
29	JETRO、JICA、カマラ、総領事館の日本企業支援に係る会議/目的：JICAサンパウロ出張事務所に次長職が常駐、民間連携班設置を踏まえ、サンパウロにおける日本企業支援体制のより一層の拡充。これを機にJETRO、JICA、商工会議所と総領事館の4者がさらに連携協力、より強力な支援を提供する。/(!)進出日本企業が「どのような場合に」「どの組織に」「どのようにして」相談すればよいのかを整理し、各組織で共有する。(ある種の「ワンストップ・サービス」)/ (2) 個別案件を含め相談事例を4者で共有し、それぞれの専門知識を持ち寄って解決に導く。/ (3) イベントの共催、施設の共有等、各組織の連携を強化する。	平田事務局長			サンパウロ総領事館
30					
31					

2013 年 11 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02	土曜日				
03	日曜日				
04	RS 州開発投資促進局を平田事務局長が表敬訪問				
05					
06	マット・グロッソ経済ミッション企画などについて意見交換会開催/在サンパウロ総領事館の坪井宣俊領事並びに相互啓発委員会の遠藤秀憲委員長、会議所からは平田藤義事務局長、日下野成次総務担当が参加				
07	平田藤義事務局長が在外公館長表彰を受賞 / 平成 25 年度在外公館長表彰受賞式開催/ブラジル日本商工会議所の平田藤義事務局長、ブラジル日系熟年クラブ連合会の五十嵐司会長、サンパウロ日伯援護協会の具志堅茂信理事が受賞、日系 5 団体代表、受賞者の家族、親せき、知人など多数が出席して受賞を祝った。				在サンパウロ日本国総領事館 総領事公邸
08	1 月の懇親昼食会に 160 人以上が参加して開催 / 在ブラジル日本国大使館の木下政務班長が、「ブラジル 最近の政治情勢」と題して講演 11 月の懇親昼食会を前に臨時理事会並びに臨時総会が開催/日本からの資金援助等（政府、団体、企業、個人等々）があり得ることを想定して、他国会議所の定款条項に倣い、当所の定款第 69 条の収入について改訂、挙手による採決で可決	160 人			チボリホテル
09	土曜日				
10	日曜日				
11					
12	竹中平蔵元金融担当大臣・経済財政政策担当大臣を迎えて、日伯経済関係の将来に関するセミナーを開催/サンパウロ州工業連盟（FIESP：パウロ・スカフェ会長）主催、サンパウロ総領事館（福嶋教輝総領事）並びにブラジル日本研究者協会（SBPN）後援	120 人			サンパウロ州工業連盟講堂
13	013 年下期税制変更セミナーに 120 人が参加して開催/日伯法律委員長（村上廣高委員長）並びにコンサルタント部会長（関根実部会長）共催/PINHEIRO NETO ADVOGADOS のジアンカルロ・マタラーズ共営者は、「外国での利益への課税ー連邦最高裁判所の決定と、その法律効果」/TOZZINIFREIRE ADVOGADOS のヴィニシウス・ジュカ・アルヴェス法務担当共営者は、「第三者による 輸入の通関業務代行問題と注文輸入の問題。連邦当局による商品流	120 人			マクソウドホテル

	通サービス税（ICMS）の徴収に関する論争：注文者のある州なのか、それとも輸入業者のある州なのか」/GAIA, SILVA, GAEDE & ASSOCIADOS - ADVOCACIA E CONSULTORIA JURÍDICA のジェオルジオ・テオドーロス・アナスタシアジス税制コンサルタント部長は、「移転価格税制：新規輸入レートによる価格方式（PCI）の争点」/TRENCH, ROSSI E WATANABE ADVOGADOS のルシアナ・シモエス・デ・ソウザ弁護士は、「利益配分法での際立った変更事項—利益配分制と、その社会保障および税制への影響」/PWC のエドアルド・シルヴァ・間接税担当シニアマネージャーは、「輸入と輸入品の再販売に工業製品税（IPI）が関わった際の、連邦最高裁判所（STF）と連邦高等裁判所（STJ）の最近の決議」/DELOITTE TOUCHE TOHMATSU のカロリーナ・ヴェルジネーリ税制コンサルタント部長は、「連邦決議 13 号の際立った点」についてそれぞれ講演した。				
14					
15	Proclamação da Republica				
16	土曜日				
17	日曜日				
18	日本貿易会との会合/日本貿易会と当商工会議所貿易部会メンバー 他による会合/今回の日本貿易会の来伯目的は海外日本人商工会議所との連携強化、および海外での商社活動の問題点の聴取、各国政治・経済情勢の把握など。始めに山岸豊生 同国際グループ部長から「日本貿易会の役割と商社業界」と題したプレゼンテーションが行われ、同会の概要、主な活動分野と常設委員会・研究会、主な位置付け、経済団体との比較、経済界の知らされる序列、主な経団連委員長ポスト、総合商社の研究、商社による M&A 事業投資事例などが説明/日本貿易会からは山岸豊生同国際グループ部長と鈴木靖之企画グループ員、会議所からは伊吹洋二貿易部会長／副会頭（丸紅ブラジル）、藤井晋介会頭（ブラジル三井物産）、黒子多加志 専任理事（伯国三菱商事）、江上 知剛 専任理事（双日ブラジル）、寺本 将人氏（ブラジル住友商事）、南野忠之氏（兼松南米会社）、平田龍平氏（ブラジル豊田通商）、平田藤義事務局長、紀井寿雄 貿易副部会長（JETRO サンパウロ）、遠藤浩昭 JICA サンパウロ出張所次長が出席。				ジェトロ・サンパウロ事務所
19					
20					
21					
22	第 13 回鈴木孝憲フォーラム開催/植木シゲアキ元鉱山動力大臣がコーディネーター兼モデレーター役になり、池田アキヒロ元大統領府企画庁経済特別補佐官、イジドーロ山中元農務省特別補佐官等が講師を勤め、特に池田氏によるマク	平田事務局長			シントリ

	ロ経済分析資料を基にブラジルの製造業の衰退と米国の凌駕する農業生産を対比、その明暗や将来展望について活発な討議が行われた。				
23	土曜日 第30回カマラゴルフ会開催/優勝は青木さん (HITACHI HIGH-TECHNOLOGIES) が LILY 46、PANSY 49、HC 32、ネット63のスコアで優勝されました。2位には藤井さん (CGC GEOTECNIA E CONSTRUÇÕES)、3位には松山さん (FUJITSU DO BRASIL)	42 人			サンパウロ PL ゴルフクラブ
24	日曜日				
25	金融部会セミナーに 50 人が参加して開催 /村山進午氏は、「大口事故例とブラジルにおける保険上の注意点」/河崎 宏一氏は「リスクマネジメント」/桑原 泰治氏は、「ブラジルの企業経営と損害保険」についてそれぞれ講演	50 人			
26	ホンダ、新四輪車工場の着工記念式典を举行 / ブラジルの四輪車の生産販売会社ホンダオートモーベイス・ド・ブラジル・リミターダ (武田川雅博社長) は、本社の伊東 孝紳 代表取締役社長執行役員を迎え 2013 年 11 月 26 日午前 11 時からサンパウロ市から 200 キロメートル北西に位置するサンパウロ州イチラピーナ市に建設する新四輪車工場の着工記念式典を行い、式典にはサンパウロ州のジェラルド・アウキミン知事ほか、同市のジョゼ マリア カンジド市長、福嶋教輝在サンパウロ総領事、全国自動車工業会 (Anfavea) の Luiz モアン会長、政府当局者、地元関係者および取引先など約 300 名が出席 古河電気イノベーション エキスポに平田事務局長が出席/本社から吉田政雄代表取締役会長を迎え、市内の Club Transatlântico のショールームに古河電気工業グループの最先端商品を展示・紹介、国際的な専門家を招き主に業界関係者等 300 人を対象にイノベーション エキスポを開いた/会議所からはホンダの定礎式の帰りに後半のプログラムに平田事務局長が駆け付け参加、又同様に福嶋教輝総領事や坪井俊宣経済担当領事等とも同展示場で合流、吉田会長から主な製品群について丁寧な説明を受けた。また本社の佐藤哲哉取締役 兼執行役員常務 (戦略本部長)、枡谷義雄海外営業部長、横田敦彦戦略企画室長、川岸慶一事業開発課長、伊地知哲朗事業部門長、土井ヒロユキ現地法人営業担当副社長、Ryo Watanabe VP, General Manager, Flavio R. Marques Senior Business Analyst (Data Center) の諸氏から専門分野毎の製品紹介を受けた後、ブラジルにおけるビジネス展開について意見交換を行った。	300 人/平田事務局長 300 人			イチラピーナ市 Club Transatlântico
27	日伯法律委員会 (村上廣高委員長) 主催による日本語による税制変更セミナー/EY の林 裕孝氏が法人所得税等の制度改正 - RTT (Regime Tributário de Transição) 方式の廃止について/EY の堀越 喜臣氏は、在ブラジル日系企業に影響を与える移転価格税制の主要な変更点について/EY の林 裕孝氏は ICMS 税 - 資産の輸入に関する主要な論点について/EY の西口 阿弥氏は Siscoserv - 概要と現状の論点について/EY の西口 阿弥氏は、eSOCIAL- 2014 年からの主	50 人			

	な課題としてそれぞれ講演				
28					
29					
30	土曜日				

2013 年 12 月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	日曜日				
02	ブラジルみずほ銀行がオープン式/本店から林信秀取締役副頭取を迎え最初に林副頭取のオープニングスピーチに続き、ルシオ ロドリゲスブラジル中央銀行の銀行監督局チーフ、加藤頭取が挨拶、鏡開きには藤井晋介会頭も参加、福嶋教輝総領事が乾杯の音頭を執った。/みずほ銀行本店から直接支援部の加藤修部長、米州営業第一部の堀江隆志部長等もオープン式に駆け付けるため来伯、両氏は午前中に、ブラジルみずほ銀行の早田幸太郎氏を伴い会議所を訪問、平田事務局長と進出企業の現状と今後の動向について意見交換を行った。	300 人			Leopoldo Itaim
03					
04	日伯法律委員会（村上廣高委員長）主催による 11 月 27 日の日本語による税制変更セミナーに参加できなかった人を対象にした第 2 回日本語による税制変更セミナー/初めに EY の林 裕孝氏が法人所得税等の制度改正－ RTT (Regime Tributário de Transição) 方式の廃止について/EY の堀越 喜臣氏は、在ブラジル日系企業に影響を与える移転価格税制の主要な変更点について/EY の林 裕孝氏は ICMS 税- 資産の輸入に関する主要な論点について/EY の西口 阿弥氏は Siscoserv - 概要と現状の論点について/EY の西口 阿弥氏は、eSOCIAL- 2014 年からの主な課題としてそれぞれ講演 Yokogawa América do Sul (略: YSA) が 40 周年/本社から海堀周造代表取締役会長を迎え最初、同社の設立 40 年の歴史をビデオで紹介後に海堀会長が挨拶、続いて福嶋総領事、平田藤義事務局長、主要顧客のプラスケンやヴァーレの役員等がブラジルにおける工業振興および一般社会に多大な貢献を果たした事に対し敬意を表し今後の益々の躍進・発展を祈り祝辞を述べた。/福嶋総領事、海堀会長、吉田社長、平田事務局長が鏡開きを行った。	45 人 250 人			ジョキークラブ
05	天皇誕生日祝賀会/日系団体・日系企業代表のほか、州政府関係者多数が訪れ、始めの両国国家斉唱に続き、福嶋 教輝総領事が挨拶を行なった。/会議所から藤井晋介会頭、村田俊典副会頭、天野一郎副会頭、伊吹洋二副会頭、江上知剛専任理事、廣瀬孝専任理事、遠藤秀憲専任理事、石田靖博専任理事、中村敏幸監事会議長、平田藤義事務局長、櫻井淳異業種交流委員会副委員長（伯国三菱商事社長代理）が出席した。 相互啓発委員会が忘年会の最終打ち合わせ会議/12 月 12 日チヴォリホテルにて行われる会議所忘年会の打ち合わせを実施。参加者は遠藤委員長、桑原泰治副委員長、平田藤義事務局長、日下野成次総務補 佐、中森アリセ アシスタン	400 人			総領事公邸

	ト、また同イベントメインアトラクションであるデボラ・シマダ ミニコンサートのプロデューサー鎌倉ゆうこ氏も同席し、式次第などについて意見交換を行った。				
06	JICA による中小企業等の海外展開支援説明会/ 初めに室澤智史 JICA ブラジリア事務所所長は、中小企業の海外進出はオールジャパンで支援しており、またすでにさまざまなスキームが出来上がっており、JICA ブラジ ル事務所兼サンパウロ出張所次長の遠藤浩昭氏が民間連携事業と日系社会支援の 2 軸を事業の中心とし相乗効果を図ることを目的に、サンパウロに常駐している ので、気楽に相談してほしいと挨拶 /JICA 中小企業支援室の大塚和哉氏は ODA で中小企業を支援している理由として、日本の中小企業の生き残りには、新興国や途上国 の成長を取り込むことが必要であり、日本の優れた技術や製品を途上国の開発に活用することで途上国の開発と日本経済の活性化を両立、地方の重視・地域の再 生を通じた経済成長、中小企業対策による地域活性化は、日本政府の重要施策の一つであると説明	20 人			
07	土曜日				
08	日曜日				
09	ブラジル韓国商工会議所の忘年会に平田事務局長が参加/Kwon 会頭の開会挨拶に続いて Young Jong HONG 韓国総領事、William Woo 元連邦下院議員、日系のヴァルテル Ihoshi 現連邦下院議員等が挨拶、ブラジル社会において同会議所および韓国コロニアが果たしている功績・貢献活動を褒め称え激励/平田事務局長も来賓挨拶の指名を受け、「ブラジルでは韓国人も日本人も中国人も東洋人としてコミュニティーを形成、お互い非常に仲良く暮らしている。昨年 の 2 月には韓伯学園 (COLÉGIO POLILOGOS) の教育現場を視察訪問、又 4 月には KYONGLIM CHOI 前在ブラジル韓国大使が当会議所を訪問される等、多方面から色々な意見交換を行って来た。今後も引き続き相互間の交流促進に努めたい。」とブラジル式に Viva(ヴィヴァ)、Saúde(サウージ)を発声、乾杯の音頭をとった。/参加者はヴァルテル下議の同級生 Ricardo Ik Bae Kim 氏、韓国企業ラテンアメリカ連合会の Thomas Choi 氏、韓国貿易投資促進庁 (KOTRA) の Jayone Lyu 氏、在ブラジル韓国大使館顧問の Kim kyung-han 氏、Min Ho Hyun ブラジル韓国会議所理事、Kun Young Yu 弁護士、サンパウロ市役所の人事局長の Celso Gabriel 氏に加え又ブラジルサッカー連盟 (C B F) の会長のジョゼ・マリア・マリン氏も中盤のアトラクションの直前に遅れて登場挨拶、韓国企業やコ ロニアに敬意を表し会場を沸かした。	200 人			ブフェーコロニアル
10	常任理事会開催				
11	異業種交流委員会/在サンパウロ日本総領事館領事坪井俊宣氏をゲストに日本の社会保障制度 (特に日本の年金制度)、ブラジルの年金制度	36 人			日本語センター

	について講演会				
12	中西俊一副会頭の歓送会/藤井会頭、村田俊典副会頭、天野一郎副会頭、伊吹洋二副会頭、上野秀雄専任理事、江上知剛専任理事、廣瀬孝専任理事、林正樹専任理事、遠藤秀憲専任理事、黒子多加志専任理事、石田靖博専任理事、平田藤義事務局長 2013 年度の忘年会/藤井晋介会頭の忘年会スピーチは伊吹洋二副会頭が代読、今年の商工会議所の会員数は 360 社、日本進出企業は 219 社と共に過去最高となり、また日伯関係の進展、6 月に発生した大規模抗議デモによるブラジルの転換期、日本企業の進出・当 地での活動拡大へのサポートなどについて述べ、その後福島教輝在サンパウロ日本国総領事が乾杯の音頭をとり、矢崎愛さんと草村芳哉サンのバックミュージックを聞きながら夕食会が始まった。 トヨタ社長の中西俊一副会頭が帰国挨拶を行い、パラナ州マリンガ市のシルヴィオ・バーロス元市長並びにカルロス・ロベルト市長が特別ゲストのマリンガ市の日本公園の落成並びに商工会議所のサポートに対してお礼を述べた。 来年日本での歌手デビューが予定されているデボラ・シマダさんが着物姿で登場して、『じょんがら恋歌』、三味線を弾きながら『じょんがら女ぶし』を歌った後、衣装替えの合間にスタッフが篠笛とチャッパの演奏を引きながら会場を回り、売上 全額を「希望の家」と「サンタクルース病院」に寄付する彼女の DVD「Dream Concert」を販売、3 曲目は『あいたくて今』、4 曲目の『都会の天使たち』はミマキブラジル社の鳴神正取締役社長とデュエット、『コスモス』『LISTEN』を歌って会場を沸かせた後、伊吹副会頭が記念プレートを贈呈した。 最後にプレミア大抽選会が行われ、デボラサイン入り色紙の抽選、先ほどの DVD の販売によって集められた半額ずつを希望の家のネウソン・オクムラ理事とサンタクルース病院の伝田英二理事長代理へ寄贈、最後は参加者全員で「蛍の光」を歌って閉会となった。	200 人			サンパウロ総領事館 チボリホテル
13					
14	土曜日				
15	日曜日				
16					
17					
18					
19	ブラジルスーパーマーケット協会（Abrás）のフェルナンド・ヤマダ会頭との意見交換会/ Abrás ノススム・ホンダ顧問、マルシオ・ミラン副会頭、フラヴィオ・タイラ経済部門担当、会議所からは天野一郎副会頭、大野恵介氏、平田藤義				サンパウロ総領事公邸

	事務局長				
20					
21	土曜日				
22	日曜日				
23	2014 年 1 月 5 日まで集団休暇				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					

2013 年 12 月のブラジル日本商工会議所活動状況の纏め

ブラジル日本商工会議所

事務局

I ブラジル日本商工会議所の活動の変化

会議所活動状況(2013年12月20日)

項 目	2010年	2011年	2012年	2013年
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	12	12	12
歓迎・送会(大使、総領事、常任理事他)	3	3	11	3
部会の開催件数(部会・長シンポ、共催)	25	24	25	28
委員会の開催件数(異業種交流委員会)	23(8)	19(3)	20	25(8)
同上(会議所外 GIE・CDM会合、FIESP等他の公的機関)	6	3	0	1
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	2	2	12	10
月例会の件数(法律、労働問題)	22	19	20	19
総会・臨時理事会	5	3	3	3
セミナー、イベントの開催件数(共催)	15(5)	19(7)	17	16
研修旅行(大・小旅行相互啓発主催)	0	0	1	1
工場・農場見学相互啓発主催(委員会)	1	2	0	1
同 上(部会主催)	1	0	0	1
他の団体との会議・シンポ・セミ・フォーラム(官民合同、経団連、FIESP訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか)	14	38	40	51
他団体主催のイベントへの参加	53	42	52	46
監事会、常任理事会の開催件数	17	15	16	16

表敬訪問件数 (FS含む訪問件数合計)	151 (163)	140 (178)	234 (270)	209 (217)
新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)	2	2	2	2
アンケート調査件数	4	11	2	2
各種調査依頼数(日本からの調査依頼)	139(118)	126(120)	114(109)	86(75)
会員からの提言件数	0	0	0	0
分科会の設置件数	0	0	0	2
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	2	1	1	0
会議所ホームページ・累計ページビュー数	4145404	4764163	5651503	6222084
ブラジル経済情報の送付件数	205	203	211	200
事務局便りの送付件数(外部団体主催含む)	46	69	71	82

注釈)件数は()内の共催数を含む。

2013 年 12 月の日本語サイトページビュー8,758 ポルトガル語 6,985

2013 年度定例懇親昼食会の状況

月	参加者 (人)	2013 年度 講 演 者 名	2012 年度 講 演 者 名	2013 年度利用 ホテル名
1	160 人	三輪昭在ブラジル日本国特命 全権大使	三輪昭在ブラジル日本国特命 全権大使	ブルーツリー・・・モル ンビーホテル
2	130人	シウヴィオ・レイミギ SUAPE GLOBAL ディレクター	厚生労働省年金局の斎藤隆国 国際年金課長補佐//国立社会保 険院 (I N S S) のマウロ・ ハウスシルジ長官	マクソウドホテル
3	140 人	長崎大学の藤野哲也 名誉教 授/リカルド・テラ (Ricardo Terra) SENAI (工 業実習サービス機関) サンパ ウロ支部技術部長	タルシーゾ・フレイタス DNIT (輸送インフラ局) エグゼク ティブ・ディレクター	インターコンチネン タルホテル
4	140 人	Magazine Luiza 社のレイザ・ エレナ・トラジャノー社長	ブラジル・トレーディング・ カンパニー協会 (ABECE) のイ ヴァン・ハマーリョ会長	ブルーツリー・ ファリアリマ・ ホテル

5	150 人	独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の北里 洋 海洋・極限環境生物圏領域 長、磯崎 芳男 海洋工学 センター長	ジョゼ・セルジオ・ガブリエリ・バ イア州企画長官	インターコンチネン タルホテル
6	150 人	ペトロブラス石油公社のオズ ワルド 川上/ サントス海 盆原油生産ゼネラル・マネー ジャー	ソウザ・ラモス社のエドアルド・ デ・ソウザ・ラモス会長	マクソウド・ホテル
7	120 人	国際公共政策研究センター （CIPPS）の田中直毅理事長	タルソ・ジェンロ南大河州知事	インターコンチネン タル・ホテル
8	150 人	物流システム計画公社 （EPL）のセザール・アウグ スト・ド・ナッシメント補佐 官	フレデリコ・ラメゴ・テイシェイラ・ ソアーレス SENAI 国際部長	チボリホテル
9	120 人	上野順恵氏(日本女子柔道の第 一人者)	ブラデスコ銀行チーフエコノミス トのオタヴィオ・デ・バーロス 氏	インターコンチネン タル・ホテル
10	140 人	ダンテ・シ カ abeceb.com ディレクタ ー、元アル ゼンチン産 業・商業・ 鉱業庁長官	ルシアーノ・ サントス・タ ヴァレス・ デ・アウメイ ダ INVESTE SÃO PAULO 局 長	マクソウド・ホテル
11	160 人	在ブラジル日本国大使館の木 下政務班長		チボリホテル
12	200 人		コシノ ジュンコ氏	チボリホテル

参考資料:会員の推移

1)2013 年度月次国籍別の会員

Mês 月	入退会 残	Origem 国籍						TOTAL 合計	OBS
		Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estran 外資	Total 計 Empresas	PF 個人		
	Adesão	6	1	0	0	7	0	7	

1	Desliga	2	0	3	1	6	1	7	
	Saldo	205	87	34	15	341	5	346	
2	Adesão	0	1	2	1	4	0	4	
	Desliga	0	0	2	0	2	0	2	
	Saldo	205	88	34	16	343	5	348	
3	Adesão	4	1	1	0	6	0	6	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	209	89	34	16	348	5	353	
4	Adesão	2	1	0	0	3	0	3	
	Desliga	0	2	0	0	2	0	2	
	Saldo	211	88	34	16	349	5	354	
5	Adesão	2	0	1	0	3	0	3	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	213	88	35	16	352	5	357	
6	Adesão	2	0	1	1	4	0	4	
	Desliga	0	1	1	0	2	0	2	
	Saldo	215	87	35	17	354	5	359	
7	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	4	2	0	0	6	0	6	
	Saldo	212	85	35	17	349	5	354	
8	Adesão	2	0	1	0	3	0	3	
	Desliga	1	1	0	1	3	0	3	
	Saldo	213	84	36	16	349	5	354	
9	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	213	84	36	16	349	5	354	
10	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	

	Saldo	213	84	37	16	350	5	355	
11	Adesão	2	2	2	0	6	0	6	
	Desliga	0	1	1	0	2	0	2	
	Saldo	215	85	38	16	354	5	359	
12	Adesão	4	0	1	1	6	0	6	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	219	85	39	17	360	5	365	
入会	Adesão	25	6	10	3	44	0	44	
退会	Desliga	7	7	8	2	24	1	25	
残	Saldo	219	85	39	17	360	5	365	

Transição de Associados

年度/国籍別の会員推移 表-2

ANO 年	入退会 残	Origim 国籍							
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasileiras ブラジル	Estrangeiras 外資	Sub 計	Soma 合計	PF 個人	TOTAL
2000	Adesão	1	6	3	1	10	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28

2003	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
2005	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31
	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006 12 現在	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
2007	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24
	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão	14	4	5	1	10	24	0	24
	Desliga	3	9	5	3	17	20	0	20
	Saldo	181	88	38	18	144	325	6	331
2012	Adesão	23	5	5	0	10	33	1	34
	Desliga	3	7	6	2	15	18	1	19
	Saldo	201	86	37	16	139	340	6	346
	Adesão	25	6	10	3	19	44	0	44

2013	Desliga	7	7	8	2	17	24	1	25
	Saldo	219	85	39	17	141	360	5	365

業種別部会/国籍別毎の会員数 表-3

2013 年 12 月現在

Nº	Dep 部会 Dez-12	Japon 進出 219	Nikkeis 日系 85	Brasil ブラジル 39	Estrang 外資 17	Soma 計 360	PF 個人 5	TOTAL 365
1	Automotivo 自動車	32	2	2	1	37	1	38
2	Comércio Exterior 貿易	27	4	1	0	32	0	32
3	Construção e Imobiliária 建設	6	8	2	0	16	0	16
4	Consultoria e Asses コンサル	8	26	25	6	65	3	68
5	Eletroeletrônico 電気電子	27	4	1	0	32	0	32
6	Fiação e Tecelagem 繊維	9	1	0	0	10	0	10
7	Financeiro 金融	12	5	5	1	23	0	23
8	Gêneros Alimentícios 食品	13	3	1	0	17	0	17
9	Metal-Mecânica		5	1	1	46	1	47

	機械金属	39						
10	Produtos Químicos 化学	28	1	0	0	29	0	29
11	Transportes e Serviços 運輸	18	26	1	8	53	0	53